

石川県小松市符津町方言の生活語彙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Kato, Kazuo メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00000136

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



石川県小松市符津町方言の生活語彙

加藤 和夫

1. 1998年度調査の概要

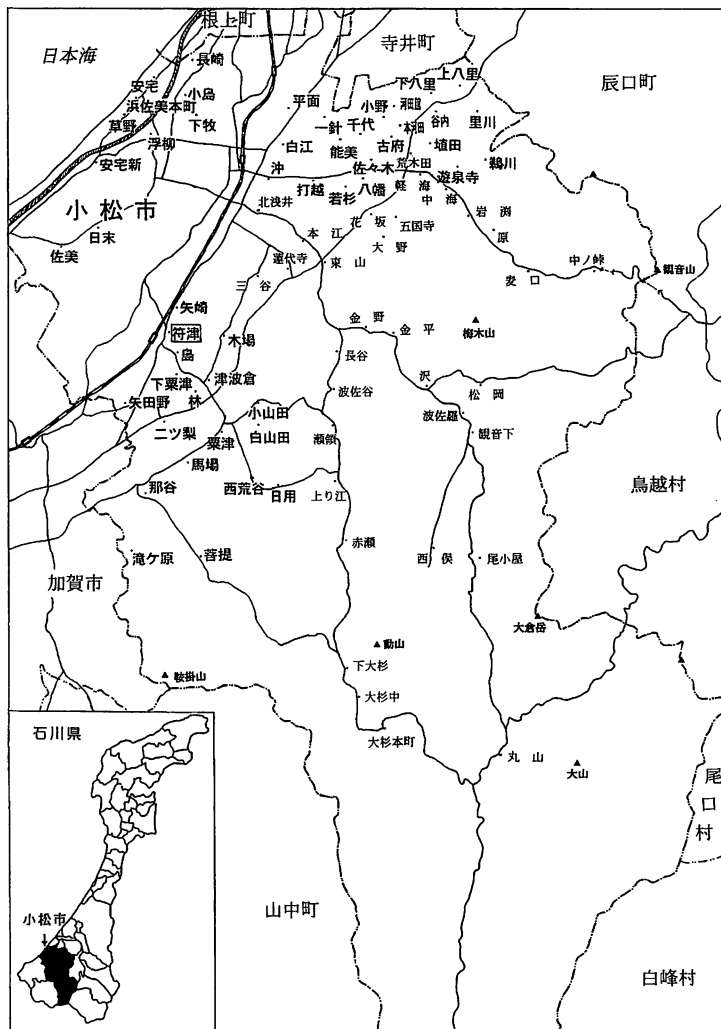
本稿は、筆者が小松市立博物館方言調査委員会の委託を受け、1996（平成8）年度より5ヶ年計画で開始した小松市全域を対象とする方言調査の第3年度目の調査報告である。この調査は、小松市内を鍋谷川流域、湊上川流域、大日川流域、郷谷川流域、大杉谷川流域、梯川流域、日用川流域、日本海沿岸域、旧小松町域、旧北国街道沿線域の10のエリアに分け、5年間で全域の調査を完了するというものである。

初年度は東部山間地域、大杉谷川流域の8集落を対象とし、その結果の概要を加藤和夫(1997)「石川県小松市大杉谷川流域の方言」(『小松市立博物館研究紀要』第33号)で報告した。また、2年度は、大杉谷川流域の東と北に隣接する郷谷川流域(一部大日川流域を含む)・湊上川流域の24集落を対象とし、その結果の概要を加藤和夫(1998)「石川県小松市郷谷川・湊上川流域の方言」(『小松市立博物館研究紀要』第34号)で報告した。そして、3年度目にあたる昨年(1998年)夏には、小松市の北部鍋谷川流域、南部日用川流域、さらに西部日本海沿岸部の計49集落を対象に調査を実施した。

今年度の調査地域・調査地点の地理的位置については右の「調査地域図」を参照されたい。図の中でやや小さな活字で示した地点名が昨年度までに終了した地点、大きめの活字で示した地点名が今年度の調査地点である。

今回の小松市全域での方言調査では、伝統的方言の記録・保存の観点から、毎年1箇所の重点調査地点を定め(一昨年度は大杉谷川流域の最上流部大杉町、昨年度は郷谷川上流域の尾小屋町、そして今年度は市の西南部、J R北陸線栗津駅前に位置する符津町)、高年層話者を対象に音韻(アクセントを含む)・文法・表現法等の体系的記述、生活語彙(約3000項目)の記述、自然談話資料の録音・文字化を行うこと、また市内の方言の地域差を明らかにするための言語地理学的調査(調査項目約100項目)を市内100地点余りの集落で実施し、その結果を言語地図(方言地図)の形で示すこと、さらには、

調査地域図



方言変容の実態を明らかにするために市内中心部において世代別・性別の多人数調査を実施することを目的としている。

小松市は図の左下に載せたとおり、石川県の南部に位置し、北を根上町、寺井町、辰口町、東を鳥越村、尾口村、白峰村、南を福井県勝山市、西を山中町、加賀市に囲まれている。面積は371.13平方キロメートル。東南部の山間地域から中央の平野部、さらには日本海に面する海岸部と、変化に富んだ地勢を見せる。石川県内唯一の空港である小松空港を擁し、石川県の空の玄関としても重要な役目を果たしている。人口は108,995人(1999年3月1日現在)である。

川本栄一郎(1983)などに載る石川県の方言区画図によれば、石川県内の方言は概ね河北郡と羽咋郡の境でまず北の能登方言と南の加賀方言に二大区分され、加賀方言はさらに金沢市を中心とした北加賀方言と松任市・石川郡以南の南加賀方言に分けられる。小松市方言は、その南加賀方言の中でも、加賀市と江沼郡を含む湖南方言に対して松任市・石川郡・能美郡の方言とともに湖北方言に含まれる。

さて、今年度の調査は小松市の北部鍋谷川流域、南部日用川流域、さらに西部日本海沿岸部の計49集落を対象として、筆者が金沢大学教育学部で担当する「国語学実習・地域言語実習」の一環として1998(平成10)年8月1日～4日に実施した。調査担当者は筆者のほか、金沢大学文学部助教授新田哲夫氏、金沢大学非常勤講師中村朱美氏、金沢大学大学院教育学研究科1年生の木全慎一郎、金沢大学教育学部4年生の児玉聖子、林亜希子、山本綾乃、同3年生の石田明子、大下武俊、太谷友美、岡野美紀、酒井美佳子、常光史明、高橋淳、高谷直樹、田端智子、玉谷佳奈子、坪本貴美子、橋本聖志、橋本昌枝、宮崎あすか、室谷有紀子、同2年生の戸田智恵美、坂田麻実、金沢学院大学文学部3年生の小西敦、高井慎一、山田恵子、同2年生の西口秀彰の計28名である。

今年度調査では、8月1日・2日に市の南部地区の中心地であり、JR北陸線栗津駅前位置する符津町において生活語彙をはじめとするいくつかの体系的調査と談話資料の収録を行い、さらに3日・4日に符津町を含めた49集落(上八里町、下八里町、河田館町、本河田町、谷内町、里川町、埴田町、遊泉寺町、鵜川町、小野町、古府町、千代町、能美町、一針町、平面町、佐々木町、白江町、八幡町、若杉町、打越町、沖町、矢崎町、符津町、島町、木場町、津波倉町、林町、下粟津町、矢田野町、二ツ梨町、粟津町、小山田町、白山田町、西荒谷町、日用町、馬場町、那谷町、善提町、滝ヶ原町、長崎町、小島町、下牧町、安宅町、浜佐美本町、草野町、浮柳町、安宅新町、日末町、佐美町)について言語地理学的調査を実施した。言語地理学的調査の調査地点数は昨年度までの32地点と合わせて計81集落となった。

話者の方々の条件は、昨年度までと同じように70歳以上で現在住んでいる集落の生まれ育ち(いわゆる生え抜き)であること、外住歴があまり長くない(5年以内)ことを原則とした。以下に、今回の調査にご協力いただいた話者の方々の氏名(敬称略)、性、生年、地点(在住集落)を記す。長時間にわたり調査にご協力下さった合計213名もの話者の皆様、ならびに話者の方々の紹介等でお世話になった地元関係各位、さらにこの調査を裏方として支えて下さった小松市立博物館方言調査委員会委員、同博物館専門委員諸氏に心より感謝申し上げる。

話者一覧

〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉	〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉
大野 志カ	女	T 5	符津町	坂本 弥智	男	T 9	河田町(本河田)
北西 栄作	男	T 11	符津町	山根 とみ子	女	T 7	河田町(本河田)
北西 雪	女	T 11	符津町	埴谷 清子	女	T 12	河田町(谷内)
北西 ゆき	女	T 11	符津町	宮向 菊枝	女	T 12	河田町(谷内)
窪田 信輔	男	S 4	符津町	室 政明	男	T 4	河田町(谷内)
辻 久雄	男	T 13	符津町	本谷 芳一	男	S 5	河田町(谷内)
辻 正義	男	S 3	符津町	北村 静子	女	T 11	里川町
中川 忠一	男	T 12	符津町	田中 昭男	男	S 5	里川町
中野 豊子	女	T 4	符津町	田中 貞子	女	T 15	里川町
中田 久吾	男	T 12	符津町	山本 忠	男	T 11	里川町
中田 チエ子	女	S 2	符津町	山本 千代子	女	T 14	里川町
中田 ちよ	女	T 8	符津町	池田 清隆	男	T 11	埴田町
中田 浪子	女	S 4	符津町	小山 策次	男	T 5	埴田町
中田 仁三郎	男	T 8	符津町	助田 米三郎	男	M 41	埴田町
中田 秀雄	男	T 13	符津町	東 太一郎	男	S 5	埴田町
中田 与三次	男	T 3	符津町	山野 可一	男	T 8	埴田町
中西 甚五郎	男	T 8	符津町	橋詰 一二	男	M 43	遊泉寺
西沢 芳	女	T 5	符津町	北出 しげ子	女	T 7	鵜川町
野口 奈美子	女	S 4	符津町	坂下 よし子	女	T 4	鵜川町
野村 信嗣	男	T 13	符津町	谷山 喜三郎	男	T 12	鵜川町
宮本 民子	女	T 10	符津町	橋本 愛子	女	T 8	鵜川町
村上 保健	男	T 11	符津町	山下 重治	男	S 4	鵜川町
北川 富美子	女	S 4	上八里町	河岸 耕一	男	T 10	小野町
北村 勇	男	S 3	上八里町	小坂 嘉一	男	T 7	小野町
中川 芳江	女	S 3	上八里町	北山 勝歳	男	T 2	古府町
山本 恭幸	男	S 3	上八里町	坂田 健一	男	T 6	古府町
新谷 幸次郎	男	T 15	下八里町	松本 節枝	女	T 14	古府町
田中 美美子	女	T 15	下八里町	吉村 留枝	女	T 2	古府町
辻 勇	男	T 13	下八里町	岡本 美代	女	M 42	千代町
辻 雪路	女	T 15	下八里町	北本 幸男	男	S 3	千代町
下道 静子	女	S 7	河田町(河田館)				
高 清正	男	T 4	河田町(河田館)				
高 春乃	女	T 8	河田町(河田館)				
堀 正男	男	T 13	河田町(河田館)				

〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉
杉永 梅子	女	T 6	千代町
森中 一雄	男	T 13	千代町
宮岸 むね	女	M 44	能美町
山岸 よね	女	T 2	能美町
吉田 清美	男	T 15	能美町
吉田 甚一郎	男	T 13	能美町
北村 和子	女	S 3	一針町
越田 俊雄	男	T 11	一針町
西野 一則	男	T 12	一針町
西村 とみ子	女	T 15	一針町
沢田 スマ子	女	T 14	平面町
東 太一	男	T 13	平面町
平井 愛子	女	S 3	平面町
森 外喜雄	男	T 14	平面町
指間 勝男	男	T 5	佐々木町
東出 佐市郎	男	T 8	佐々木町
東出 静子	女	T 5	佐々木町
本田 あい	女	T 3	佐々木町
南出 豊二	男	T 11	佐々木町
大倉 美代子	女	T 9	白江町
岡田 弘	男	T 9	白江町
加藤 春子	女	T 9	白江町
白藤 美代子	女	T 8	白江町
上田 しか	女	M 40	八幡町
円満字四郎	男	T 9	八幡町
河原 キク子	女	T 13	八幡町
宮本 知忠	男	T 4	八幡町
糸尾 外志子	女	T 14	若杉町
北本 武一	男	T 8	若杉町
坂本 さだ子	女	T 3	若杉町
若林 政二	男	T 9	若杉町

〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉
石田 巳代治	男	S 4	打越町
上田 保久	男	S 3	打越町
久田 清子	女	T 9	打越町
南 美枝	女	T 11	打越町
千田 芳子	女	T 12	沖町
長田 豊栄	男	T 13	沖町
西辻 利子	女	T 11	沖町
向井 豊吉	男	T 12	沖町
北口 数子	女	T 6	矢崎町
高地 愛香	女	T 2	矢崎町
中田 栄一	男	T 3	矢崎町
西田 武司	男	T 7	矢崎町
嶋野 清	男	S 2	島町
富山 ふみ	女	T 4	島町
東野 久吾	男	M 43	島町
山下 キミ子	女	T 11	島町
片山 敏夫	男	T 10	木場町
藤田 みよ	女	T 15	木場町
山口 ふじ子	女	T 15	木場町
吉田 純孝	男	T 10	木場町
脇坂 良知	男	T 14	木場町
清水 信枝	女	T 12	津波倉町
新谷 弘	男	T 1	津波倉町
道願 富雄	男	T 12	津波倉町
中西 つや	女	T 5	津波倉町
五十嵐清治	男	T 15	林町
千代 喜一郎	男	T 14	林町
中村 みよ	女	S 3	林町
山本 千代	女	T 15	林町
辻 弥一郎	男	T 8	下粟津町
中出 正幸	男	T 10	下粟津町
松山 光	女	T 12	下粟津町

〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉
南出 かず	女	T 8	下栗津町
軽海 一二	男	T 7	矢田野町
軽海 美代子	女	T 14	矢田野町
島野 晃二	男	T 14	矢田野町
新川 外雄	男	T 8	矢田野町
新川 利子	女	T 15	矢田野町
谷口 幸子	女	T 6	二ツ梨町
寺西 清子	女	T 7	二ツ梨町
東 宗市	男	M 45	二ツ梨町
宮野 栄治	男	S 5	二ツ梨町
岡島 隆子	女	T 10	栗津町
清水 伊作	男	T 5	栗津町
園 政一	男	S 2	栗津町
吉田 千代	女	T 5	栗津町
高荷 愛子	女	T 13	小山田町
高荷 貞雄	男	T 13	小山田町
宮下 実子	女	S 2	小山田町
宮下 久男	男	T 8	小山田町
北 義夫	男	T 9	白山田町
北口 一雄	男	T 13	白山田町
東 弘昌	男	T 13	白山田町
東 操	女	S 2	白山田町
村上 信雄	男	S 2	西荒谷町
村上 麗子	女	S 8	西荒谷町
有川 良子	女	M 42	日用町
高 伊太郎	男	S 6	日用町
森川 辰雄	男	T 8	日用町
小川 すま	女	T 3	馬場町
貝田 岩男	男	T 15	馬場町
貝野 ミヨ子	女	S 5	馬場町
中山 馨	男	T 2	馬場町

〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉
橋本 千代子	女	T 14	馬場町
大矢 千代	女	T 10	那谷町
紺谷 市次	男	T 6	那谷町
高田 マサ	女	S 1	那谷町
吉村 摠市	男	T 13	那谷町
秋野 俊子	女	T 5	菩提町
土山 よし	女	T 6	菩提町
東野 庄七	男	T 14	菩提町
吉村 宗吉	男	T 13	菩提町
荒谷 薫	男	S 6	滝ヶ原町
加藤 久子	女	T 9	滝ヶ原町
川口 祐吉	男	T 8	滝ヶ原町
小谷 登美子	女	S 2	滝ヶ原町
滝口 清太郎	男	T 13	滝ヶ原町
畑 外枝	女	T 11	長崎町
浜 重雄	男	T 10	長崎町
八木 一江	女	T 15	長崎町
八木 忠夫	男	T 13	長崎町
助田 ふみ	女	T 12	小島町
本多 芳秋	男	T 9	小島町
安田 辰夫	男	S 6	小島町
吉田 操	女	T 6	小島町
杉本 有造	男	T 6	下牧町
中出 久子	女	T 12	下牧町
林 外最吉	男	T 14	下牧町
林 ヨシ子	女	T 14	下牧町
石立 吉雄	男	T 15	安宅町
西川 雪丞	女	T 14	安宅町
福井 武子	女	S 3	安宅町
山崎 弘信	男	S 6	安宅町

〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉	〈氏名〉	〈性〉	〈生年〉	〈地点〉
上田 正信	男	T 12	浜佐美本町	岡本 次作	男	T 1	安宅新町
木村 花子	女	T 12	浜佐美本町	亀田 はつ	女	T 3	安宅新町
宮崎 哲夫	男	T 12	浜佐美本町	木戸口正男	男	T 10	安宅新町
山口 弘子	女	T 13	浜佐美本町	中出 倫子	女	T 7	安宅新町
小西 義雄	男	T 12	草野町	北崎 文枝	女	S 4	日末町
中田 仁子	女	T 14	草野町	北崎 之夫	男	T 13	日末町
西田 藤作	男	T 9	草野町	高見 トメ	女	T 12	日末町
前川 清子	女	T 10	草野町	吉中 七郎	男	T 15	日末町
北野 政男	男	T 12	浮柳町	小林 すみ	女	T 8	佐美町
中村 信子	女	T 15	浮柳町	中村 千代子	女	T 15	佐美町
安川 義雄	男	T 11	浮柳町	原 好男	男	T 8	佐美町
山下 輝久	男	T 6	浮柳町	東田 敏男	男	T 13	佐美町
大筋 裕	男	T 9	安宅新町				以上

本稿では当初、今回の重点調査地点とした符津町方言の音韻・文法の概要、生活語彙、自然談話資料等、さらにこれまでに調査を終えた81地点の言語地理学的調査に基づく言語地図の一部を報告する予定であったが、調査資料の増加とともに結果の整理や分析に予想以上の時間がかかることとなった。よって以下では、整理の終わった符津町方言（高年層）の生活語彙のみを報告する。符津町方言の自然談話資料等と言語地理学的調査の結果については次号で報告する予定である。

2. 符津町方言の生活語彙

今年度の調査でも、伝統的方言の生活語彙記述のための調査項目として、昨年度までと同様、平山輝男他編『現代日本語方言大辞典（全9巻）』（明治書院 1992～1994）編纂のために用意された「方言基礎語彙調査票」に載る約2300項目を利用した。調査項目は18分野に分けられており、その内訳は<天地・気候>166項目、<動物>164項目、<植物>173項目、<人体>208項目、<衣>146項目、<食>202項目、<住居>162項目、<民俗>120項目、<遊戯>64項目、<教育>75項目、<人間関係>97項目、<社会・交通>158項目、<行動・感情>125項目、<時間・空間・数量>297項目、<職業>69項目、<農・林・漁業>150項目、<勤怠・難易・経済>50項目、<助詞・助動詞・その他>180項目となっている。ただ、これら約2300項目には関連項目も多く含まれ、また実際の調査にあたっては調査担当者が項目の補充等を行っているので、実質的な調査項目数はおそらく3000以上になっているものと思われる。

今年度の調査対象地点は小松市西南部、JR北陸線粟津駅前に位置する符津町である。符津町については、「1.1998年度調査の概要」でその地理的位置を確認されたい。

方言とはある地域社会で用いられる言語体系全体をさすので、たとえ語形がたまたま共通語形と同じであっても符津町で使われていれば符津町方言の語彙ということになるが、本稿では紙数も限られていることから、昨年度までと同様、共通語形と意味も形も一致するものは原則として省略した。

ある方言語形が複数の分野にまたがって聞かれた場合は、一部重複して載せたものがある。また、同一項目（同一意味内容）で、符津町の語形・表現形と一昨年調査地点大杉町の語形・表現形、さらに符津町のそれと昨年調査地点尾小屋町の語形・表現形が異なっていた場合には、参考として大杉町方言、あるいは尾小屋町方言の語形・表現形を「大杉」、尾小屋の略号とともに示した。また、記述中、「関連」とあるのは見出し語形との関連語彙、「例」とあるのはその具体的用例であることを表わす。用例の後には（ ）に入れて共通語訳を付した。

本稿での語彙・用例の記述にあたっては表音的片仮名表記を用いた。表音的片仮名表記のうち、カ°・キ°・ク°・ケ°・コ°は、そのガ行子音が破裂音[ɡ]ではなく鼻音[ŋ]であることを、他に、シェ・ジェは[ʃe][dʒe]、クワ・グワは[kwa][gwa]に近い音声であることを表わす。

品詞名については名詞以外のものについて品詞名を、さらに動詞については活用の種類を〔 〕に入れて示した。品詞名は動詞を〔動〕、形容詞を〔形〕、形容動詞を〔ナ形〕、副詞を〔副〕、連体詞を〔連〕、助動詞を〔助動〕、助詞を〔助〕のように略記し、動詞の場合は活用の種類とあわせて、五段を〔動・五〕、上一段・下一段を〔動・一〕、サ変を〔動・サ〕、カ変を〔動・カ〕と略記した。その他、慣用句的な表現は〔慣〕と略記した。

なお、以下の語彙資料に関しては、分野を分担して調査を担当した学生諸君の草稿をもとに加藤が執筆した。

2.1 <天地・気候>に関する語彙

ナーツ 夏。【関連】 ハル 春。アキ 秋。フユ 冬。

ネンカ°ラネンジュ 1年中。

オヒカ°ン 彼岸の季節。

ヨーキ 天気。気候。

ホーカ°ク 方向。方位。尾小屋 ホーコー。

テッペン 頂上部分。ただし、頂上部分でも場合によりチョージョー、ムネ、ウエと言うこともある。

例 ヤマノ テッペン (山の頂上)。ヤマノ チョージョー (山の頂上)。キノ テッペン (木の一番上)。ヤネノ ムネ (屋根の一番上の部分。棟)。ヤク^ラノ ウエ (槽の上)。
スミッコ 隅。スミとも。例 ニワノ スミッコ (庭の隅)。尾小屋 スマッコ。
ジベタ 地面。ジメンとも。
ソコ 底。例 カワノ ソコ (川の底)。ウミゾコ (海の底)。イトゾコ (茶碗の底の部分)。
ツブ 粒。関連 ナカコ^コ、フクロ (みかんの房)。コメンツブ (米粒)。
アナ 穴。人が掘ったものと、自然にできたものがある。関連 トリノアナ 啄木鳥などが作った穴。ネブリアナ 障子に指をなめて開けた穴。キノアナ 自然にできた木の穴。
マンポ トンネルのこと。大杉 マンポ。尾小屋 マンプ、マンポ。
スキマ 物と物の隙間。大杉 アワシヤ。尾小屋 スキ。
ゴミ 塵芥。チリとも。関連 チリトリボーケ 箒。
セキ 堰。用水取り入れのために水をせき止めた場所を特にセキトメとも。大杉 ユー。尾小屋 ダンブリ。
ツズミ 灌漑用に水をためた池。自然な水溜り、人工的なため池のいずれをも言う。堤防や土手のことを言う言い方ではない。尾小屋 ツズミ。
アカリ 光。ヒカリとも。例 ツキノ アカリ (月の光)。関連 イナビカリ 雷が鳴る時に光る稲妻。コーミョー 日の光。関連 マブイ [形]・マブシー [形] まぶしい。
カケ^ロ 影法師のこと。陰・影をカケ^トとも。関連 ヒカケ^チ 日陰地。ヒナタ 日向。
アカ^ガネ 銅。カラカネ、ドーとも。
テーツ 鉄。関連 カナモン 金属一般。
イシコロ 石。イシ、イシナとも。尾小屋 イシナ。
イシヤマ 岩山。尾小屋 イシヤマ。
ツーチ 土。ドロとも。
ドロ 泥。関連 ドロコネ 泥をこねて遊ぶ子どもの遊び。
ヌマダ 沼田。水気が多いどろどろの田んぼ。
タン 石炭。セキタンとも。例 タンオ イレル (石炭をくべる)。
アブラ 石油類の総称。セキユとも。大杉 アツラ、アツバ。
ショーズ 湧き水。湧き水の出る場所。
シミル [動・五] もう少しで氷がはるほど冷える。関連 カチワリ 食用の固まりの氷。
タロキ 氷柱。古語「垂氷」がタルキ→タロキと変化したもの。ツララとも。例 タロキカ^サカ^ツトル (氷柱が下がっている)。尾小屋 タルキ。
ツイ 露。シズク、ツユとも。関連 ツユニ カブレル 畑に出たとき、草の雫にかぶれる。ツユマケ 畑に出たとき、草の雫にかぶれること。
スズク 雫。シズクとも。例 スズクカ^オチトル (雫が落ちている)。
ガチャブリ 大雨。関連 ナカ^サメ 長雨。
キツネノヨメドリ 青空のもとで降る雨。日照り雨。
オテラシ 長い間雨が降らないこと。「お照らし」の意。
アマミズ 雨垂れ。「雨水」の意。アマダレとも。
ユダチ 夕立。雷が鳴り出すと夕立 (ユダチ) が来るなあと思う。雷はユダチの前触れ。
シモカ^オク [動・五] 霜がおりる。例 シモカ^オイトル (霜がおりにている)。

アラネ ^{あられ} 霰。アラレとも。

ユキ 雪。【関連】コンカユキ 粉雪。コンカは「糠」のこと。バタユキ 水気の多い雪。バタバタユキ 水気の多い雪。ボタンユキ ふわふわした大きな雪。

ゴボル〔動・五〕 雪や泥に足が潜る。

ソラアルキ 寒い朝、雪が固く凍った上を歩いて遊ぶこと。普段歩けない田んぼの上などを自由に歩けるので、子どもの冬の楽しい遊びの一つだった。【大杉】ソラノビ。【尾小屋】オシヨライコ、オシラケ。

オーナダレ 大きい雪崩。

スナクズレ 山崩れ。

ドンドカミ 雷。【大杉】ドンドカミ。【関連】ゴロゴロカミ 音だけの雷。イナビカリ 稲光。稲妻。光だけで音がしない場合が多い。特に秋の刈り入れ時によく見られる。

ユキカミナリ 雪が降る前に鳴る雷。【大杉】ユキカミサマ。【尾小屋】ユキフリカミ。

カジェ 風。【関連】タツミカジェ 季節に関係なく南東方向から吹く風。ヒカシカジェ 東風。ニシカジェ 西風。ツムジカジェ つむじ風。

ボンボラカジェ 春に吹く南風。ミナミカジェとも。【大杉】ボンボカジェ。【尾小屋】ボンボコカゼ。

アイノカジェ 冬の前に吹く北風。

オーカジェ 台風。【関連】ドラサメ 大雨。

テンコー 天気。天候。テンキ、オテンキとも。【関連】シェーテン 晴天。クモリゾラ 曇天。アマゾラ 雨模様。

ニージ 虹。

カンバツ 日照。「^{かんばつ}旱魃」から。

オヒサマ 太陽。ヒーサマ、オテントサン、タイヨーとも。【大杉】ヒーサマ、オヒーサン、オヒサン。【尾小屋】オヒーサマ。

オツキサン 月。ツキとも。【例】オツキサン カサ サイテヤ（お月さまが傘をさしている。月が傘をさすと雨が近いと言う。）【関連】ジューゴヤ 満月。ジューゴヤオツキサン、マンケツとも。

オホシサン 星。ホシとも。【関連】ホーキボシ 彗星。ナカレボシ 流星。

ヨルノホシ 宵の明星。ヨイノミョージョーとも。【関連】アサノホシ 明けの明星。アケノミョージョーとも。

ヒラチ 平野。平らな土地。ヘーチとも。

ゾーキバヤシ 雑木林。

ユキズマリ 谷の一番奥の場所。「行き詰まり」の意。

ヤマビコ ^{こだま} 木霊。

キワ ^{ふもと} 麓。フモト、スツとも。

クサムラ 一面に草が生えている場所。クサツバラとも。【尾小屋】クサワラ。

カワ 川。田畑に水を引く用水もカワと言う。

ショシヨナギ 小さい川。オカワとも。【関連】エザシ 小川。

ショーズ 湧き水。湧き水の出る場所。昔はショーズから用水を取った。

サワ 沢。山間の広くて浅い谷。くぼんでいて草が生えている湿地。

ミズタメ 用水池。大きな水たまり。

ヌカ 沼地。ヌカルミとも。

フコワリ 田んぼの所にある湿地。

フチ 淵。【関連】カワブチ 岸側の淵。カワノアケ°とも。
 ウミベリ 海岸。
 オーキ 沖。
 フナミチ 海岸の入江で船が入ってくる所。
 ノリアケ° 暗礁。「乗り上げ」の意。
 カワキ°シ 河岸。カワブチ（「川淵」の意）、カワノアケ°とも。
 ガケキ°シ 人家の近くまで迫っている山の端。
 ハマ 砂浜。【関連】ハマドコロ 海の近くの集落や砂浜。
 ウキジマ 浮いているように見える島。
 テル〔動・五〕 照る。【例】ヒカ° テットル（日が照っている）。
 オチル〔動・一〕 落ちる。降る。【例】アメカ° オツテキタ（雨が降ってきた）。【関連】アメニ オータ（雨に遭った。雨に降られた）。
 カチカチニナル〔動・五〕 手拭いや雑巾などが冷えて固まる。【関連】コール 水が冷えて固まる。
 カジケル〔動・一〕 寒さのために手が凍える。カンジケル〔動・一〕とも。【大杉】カンジル〔動・上一〕。
 ヤコナル〔動・五〕 やわらかくなる。ヤラコナル〔動・五〕とも。
 ヌクイ〔形〕 暖かい。【関連】ナマヌルイ〔形〕 生暖かい。生温かい。生ぬるい。ヘナマヌルイ〔形〕とも。テンポナ アツイ 大変暑い。
 ムシアツイ〔形〕 蒸し暑い。【尾小屋】ムシヌクイ〔形〕、ムシアツイ〔形〕。
 サブイ〔形〕 寒い。サムイ〔形〕とも。【関連】サムサカリ 寒がりの人。サムカリヤとも。
 チビタイ〔形〕 冷たい。ヒヤートスルとも。【大杉】チツタイ〔形〕、チッテー〔形〕。
 テッペン 山頂。チョージョーとも。
 ヨコッチョ 横。ヨコとも。

2.2 <動物>に関する語彙

エサ 干し草、飼葉などの餌。【例】トリカ° エサ ツツイトル（鳥が餌をつつついている）。
 スオ カケル 巣を作る。【例】トリカ° スオ カケル（鳥が巣を作る）。
 オンダ 動物の雄おすの古い言い方。雄鶏。鳥の雄をさす場合が多いが、牛や馬の雄も言う。【尾小屋】オンツ。【関連】オンドリ 雄鶏。
 メンダ 動物の雌めすの古い言い方。鳥の雌を言うことがほとんど。【尾小屋】メンツ。【関連】メンドリ 雌鶏。
 ヨツアシ 四本足の動物をさす古い言い方。【関連】チクショー 獣。家畜。
 イン 犬。【例】アソコノ イン（あそこの犬）
 ボー 牡牛。男の子をさす言い方でもある。牝牛と区別して言う。【関連】ボーバ 競馬場での牡馬の言い方。
 チチウシ 牝牛。乳が出る牛の意。牡牛と区別して言う。メンタとも。【関連】ヒンバ 競馬場での雌馬の言い方。
 ンマ 馬。【関連】サンサイ 競馬場などで子馬をさす言い方。「三歳」から。
 カワブソ 川かわうそ獺。
 トバ 鮪いたち。
 コンモリコ 蝙蝠こうもり。【尾小屋】コンモリ。
 ムジナ 穴熊。【関連】シクマ 狸の一種。

モクロ 土竜もぐらの古い言い方。土竜が土の中を進むとき土がモクッモクッと盛り上がることからとのこと。

ニクジラ 赤い肉くじらの鯨。【関連】カワクジラ 白い脂肪の上に黒い肉のある鯨。

トット 鶏。子どもに対して鶏のことを言うときの言い方。【例】トット ミニイコ（鶏を見に行こう）。

【尾小屋】トットコ。

ケリ 鳩に似た鳥の名。

デッデポッポ 鳩。山鳩。鳴き声から。カッポカッポとも。ハトとも。【例】デッデポッポカ° オル（鳩がいる）。【尾小屋】デデポポ。

ビバリ 雲雀ひばり。

フクロ 梟ふくろう。ホーホーと鳴く。鳴き方が違うと次の日雨が降ると言う。【例】フクロ ナクカラ ハヨ イッテ ハヨ カエロ（梟が鳴くから早く行って早く帰ろう）。

モズ 百舌もす。【関連】モズノハヤニエ 百舌が雪が降ったときの餌とするために蛙を干すこと。これが高い位置にあれば雪が多く、低いときは雪があまり降らないと言われた。

アカハラ いもり。子どもの頃こう言った。腹が赤いことから「赤腹」の意。【尾小屋】メモライ。

メメンジャコ おたまじゃくし。本来「目高」をさしたものが「おたまじゃくし」の方言形に転用された。

ウマントト 目高。【関連】ヘコタ 小さい魚（目高よりも大きい）の呼称。

ギャワズ 蛙の総称。【大杉】ギャル。種類にアオギャワズ、アマギャワズ（雨蛙のことか）など。【関連】メクソギャワズ 蛙の種類で、大きく汚い色の食用蛙。

トキヤク 蜥蜴とかげ。トカケ°とも。

ヌシ 蛇の青大将の一種で家にいる。家のヌシは大事にした。アオダイショ°とも。

ヒワカリ 蛇のヒバカリのこと。これに噛まれたら命はその日ばかりと言われたから「日別れ」（本来は「日ばかり」から）の意と言うが、実際には性質もおとなしく無害である。

トト 魚の古い言い方。【例】トト トリニイク（魚を捕まえにいく）。

コンカイワシ 米糠で漬けた鰯。

カマス 魚かますの鮓。【例】アキカマス ニクイ ヨメニワ タベサスナ（秋鮓はおいしいから憎い嫁には食べさせるな）。

アカモン 鯛かながしらや金頭などの赤い色をした魚をさして言う。「赤物」の意。【例】オメデタイトキワ アカモンオ ツカエ（おめでたい時は赤物を使え）。

フグノミ 河豚ふぐを干したもの。【尾小屋】フクノミ。

コゾクラ 鰯ぶりの一番小さい時期の呼称。成長するにしたがって、フクラキ°、ガンド、ブリと呼び方が変わる。

ヘコタ 小さい魚（目高よりも大きい）の呼称。諸子もろこ（コイ科の淡水魚）の幼魚か。

ナベワリ 体長3～4センチの泥鰌どじょうに似た魚。鍋で煮ると鍋が割れるという言い伝えから。

タンガ°ラカ°イ 昔、田んぼにいた貝の一種。最近はいなくなった。

シジミガ°イ 蜆しじみ。

ツーブ 田螺たにし。

ミズスマシ あめんぼう。本来の「みずすまし」との区別が曖昧。

ガ 蛾がの幼虫。虫の幼虫全般も言う。羽化した蛾は蝶ちょうと区別せずチョ°、チョ°チョ°と言う。

カイコサン 蚕かいこ。農家にとって唯一お金になる虫なので丁寧に呼んだ。【例】カイコサンワ マユオツクル（蚕は繭を作る）。

ゴットムシ かぶと虫など甲虫の幼虫。

シェミ 蝉。【関連】ミンミンジェミ みんなん蝉。
 チョーチョ 蝶。蛾も蝶と区別せずチョーチョと言う。
 ハイ 蠅。ハイボンボとも。【大杉】ハイボンボ。
 ブト 蚋^{ぶよ}。蚊よりも小さく、日中の野良仕事するときなどに飛んできて血を吸う虫。昔はこの虫が近づかないように、ぼろ布を巻いて火をつけたものを腰につけたりした。【大杉】ブト、ブトー。
 ヘリ 蛭^{ひる}。
 ムカゼ 百足^{むかで}。【大杉】ムカジョ。【尾小屋】ムカゼ。
 ゴーモツ 腸^{はらわた}。内臓。
 デンデンムシ 蝸牛^{かたつむり}。カタツムリとも。
 オッポ 動物の尾。シッポとも。【尾小屋】オッポ、シッポ、オンボ。
 トブ〔動・五〕飛ぶ。跳ぶ。【例】ウサキ°カ° トンドル（兎が跳ねている）。
 ボー〔動・五〕追う。追いかける。【例】ボーテイク（追って行く）。
 サカル〔動・五〕動物が発情する。動物が交尾することもある。【例】サカトル（発情している）。【尾小屋】ツルム〔動・五〕虫や動物が交尾する。サカル〔動・五〕発情する。
 カヤル〔動・五〕卵が孵^{かえ}る。【関連】コダネノナイ タマゴ°（孵化しない卵）。
 デコナル〔動・五〕成長する。大きくなる。
 シク°〔動・五〕死ぬ。【例】アソコノ バーバ シカ°シタ（あそこの家のおばあさんが亡くなられた）。【関連】ゴネル〔動・一〕死ぬ。嫌われる。【例】アノヒト ゴネリヤ エーンニ（あの人死ねばいいのに。あの人嫌われればいいのに）。
 ツブス〔動・五〕豚を食べるために殺す。【例】アノ ブタ ツブストイヤー（あの豚を殺すということだよ）。【関連】コロス〔動・五〕人、牛、鶏、魚、虫などを殺す。【例】コロイタ（殺した）。

2.3 <植物>に関する語彙

ナッパ 野菜の中の菜類（キャベツ、白菜、ほうれんそうなど）の総称。昔はナーとも言った。
 ドヨーアズキ 餅のまわりについている小豆。総称はアズキ。他にワセイアズキという種類も。
 ブツエンドー 豆を食べる豌豆^{えんどう}。【関連】サヤマメ さや豌豆。
 ウリ 瓜の総称。【関連】キンカンウリ 黄色の縦縞模様のある瓜。メロンウリ 青くて実ると白くなる瓜。ナシウリ すじの入った瓜。
 ナンキン かぼちゃ（南瓜）。カボチャとも。【大杉】ポッバー、ポッパ。【尾小屋】ポブラ、カボチャ。
 ゲンノショー 薬草の「げんのしょうこ（現の証拠）」。
 ゴンボ ごぼう（午旁）。
 カボチャイモ 黄色いさつま芋。【関連】ギク さつま芋の茎。
 イモノコ 里芋。【大杉】エモンコ。【尾小屋】イモノコ。【関連】ズイキ 茎を食べる種類の里芋。
 チソ 紫蘇^{しそ}。梅干を漬けるときに用いる赤紫の葉のもの。アカジソ、チリメンジソとも。青い葉のものはアオジソと言う。
 オーバ 車前草^{おおばこ}。「大葉」の意。
 フルショーカ° すりおろして使う古い生姜^{しょうが}。
 キーナイ スイカ 中が黄色の西瓜。【関連】ラグビー 楕円形をした西瓜。
 ジェンマイ 山菜（若芽を食用とする）のぜんまい。【大杉】ジェンマイ、ゼンメー。【尾小屋】ジェンマイ。【関連】ヘビノジェンマイ 固くて食べられないぜんまい。【尾小屋】オトコジェンマイ。

オタフクマメ そら豆。

スクリナ 大根の若芽。おひたしにして食べる。「すぐった（選び取った）菜」の意。【関連】ダイコンバ 大根の葉。

ツクシンボ 土筆。

ナンバ 唐辛子の長いもの。【関連】タカノツメ ナンバより長さの短い唐辛子。ヒチミ うどんや蕎麦にかける粉末調味料の七味唐辛子。

サトキビ 玉蜀黍の古い言い方。【尾小屋】ナンバキビ、トーキビ。

ナスビ 茄子。

ネブカ 葱。ネキ°ポーズとも。

ヘー 稗。

ケン 麦の穂のツンツンした毛の部分。

フーキ 蒨の総称。

ヤマノイモ 野生の山芋。2年目からのものをジネンジョと言う。トロロイモとも。【関連】ゴンコー 山芋の蔓につく丸い実「むかご」のこと。

モチク°サ 蓬の若芽。柔らかい新芽の部分を餅に入れることから。

ソコマメ 落花生のこと。地中に実ができることから「底豆」と言う。実になるとラッカシェーとも。

【大杉】ソコマメ、ナンキンマメ。【尾小屋】ナンキンマメ、ラッカシェー。

ナタネノハナ 菜の花。種から油が採れる。【尾小屋】ナタネナ 油菜。

アサシラキ° 繁縷。【大杉】アシャシャキ°。【尾小屋】アサシラキ°。

ツユク°サ 露草。

ワルク°サ 「荒地宵待ち草」のこと。黄色い花が咲く。月見草とは別の種類。

オヒカンバナ 彼岸花。曼珠沙華。花が咲き終わったあと葉が出ることから、ハミズハナミズ（葉見ず花見ず）とも。

フクベ 瓢箪。

ビンバナ 鳳仙花。

キー 樹木の総称。

カーキ 柿。【大杉】カーキ。【尾小屋】カキ。【関連】柿の種類で、甘柿にフユカ°キ（富有柿）があり、渋柿はツルシカ°キ（干柿）にする。

チャダマ 茶の木になる実のこと。【関連】チャ 茶。

ナーシ 梨。

クワ 桑。[kwa]と発音される。

ツバメ 桑の実。クワノツバメとも。これを食べると口の中が黒くなる。【大杉】ツマメ、クマメ。

ダボ 椿の実。

イバラボタン 赤色の野生の茨。

フージ 藤。

コッサ 松を中心に他のいろいろな葉も混じった落ち葉。特に松の落ち葉はマツバと言う。【関連】コッサカキ コッサを集めること。松にはメマツ（雌松）とオマツ（雄松）があり、メマツは薬草になる。

バイタ 木を切って作った太い薪。マーキとも。【関連】フロダキ 細かい枝の焚き木。「風呂焚き」の意。タキモノとも。ソークニスル 「束にする」の意。木の枝を束にする。

コケ ^{きのこ} 茸の総称。【関連】サルノコシカケ かわら茸。シバタケ 黄色い色をした茸。湯がいたりおつゆに入れたりするとつるつるする。マツタケ 松茸。

ウキモ ^{こけ} 苔。根がはらずに浮いているような状態になっていることからこう呼ぶ。ウキク°サとも。

モー ^も 藻。ウミノモーとも。ウキモとモーは違う。【関連】ミズコ°ケ 海ではなく川や潟の水中に生えているもの。また地面に生える細かな苔を言う場合もある。

ヘビノゴザ ^{しだ} 羊歯の一種。葉はがさがさしている。ただし、正月に使うものはすべすべしている。

キノネッコ 木の切り株。キリカブとも。

キ 木の茎。【関連】ギーク、ジーク 里芋や豆などの茎。

キーロマーニナル〔動・五〕 秋に木の葉が色づく。【関連】コーヨー 紅葉。

キノサキ 樹木の先の部分。木の梢。シンとも。

ジン 木の脂。^{やに} 桃や桜の木、杉の木に出る脂。【尾小屋】アメ 桃、桜、杉から出る脂。ヤニ 松脂。

ハナカ° ^{つぼみ} ヒラキニカカル 花の蕾がふくらみはじめる。

ツール ^{つる} 蔓。

ネッコ 根。ネーとも。【関連】ダリヤノイモ ダリヤの球根。ユリノネ ユリの球根。

ハッパ 葉。ハーとも。【関連】ダイコンナー 大根の葉。

ホゾ ^{へた} 柿やおずきの蒂。【関連】ネッコ 茄子やトマトの蒂。

ホー 穂。

ミー 実。

メー 芽。

チール〔動・五〕 散る。

ムシル〔動・五〕 草などを根が残らないように取る。【関連】カル〔動・五〕 草などを根が残った状態で刈る。

ミカ°イル〔動・五〕 野菜などの色が変わらないで熟す。【関連】イロクル〔動・カ〕 果物などの色が変わって熟す。イロツク〔動・五〕 稲や柿が熟す。【大杉】イロズク〔動・五〕、ヨーダ。【尾小屋】ミカ°イル〔動・五〕、イロム〔動・五〕。

ツク〔動・五〕 実がなる。ナル〔動・五〕とも。

ナルドシ 果実などがよく実る年。【尾小屋】ナリドシ。【関連】ナラントシ 果実などがあまり実らない年。ネキ°リ 前年になりすぎたため今年はずらぬにあること。

デル〔動・一〕 草などが生える。ハエルとも。^{かび} 黴もハエル。【尾小屋】オエル、ハエル。

トキシラズ 時期はずれに花が咲くこと。キセツハク°レとも。また、そういった花をダラ（「馬鹿」の意）と言うことも。【尾小屋】トキシラズ。

シナビル〔動・一〕 植物などが水気を失って弱る。あるいは、土からはなれた作物が時間の経過で水気を失う。シオレル〔動・一〕とも。

ネク°ソーナル〔動・五〕 ものが腐って悪臭がする。ワルナル〔動・五〕とも。【大杉】ネンソナル〔動・五〕。

2.4 <人体>に関する語彙

コーベ 頭部全体をさして言う。【大杉】コーベ。【尾小屋】コベ、コンベ。【関連】ウシロコベ 後頭部。

【尾小屋】ウシロコベ、ウシロコンベ。

コベンパチ ^{ひたい} 額。昔はコベンカチとも言った。

ズコ 前頭部。ズコンパチ、ズコッパチとも。【例】ズコンパチカ° イタイ (頭痛がする)。
オドリ ひよめき。赤ん坊の前頭と後頭の骨と骨の隙間で、呼吸の度にびくびく動く所。
ツムジ 旋毛^{つむじ}。後ろよりの頭頂部などにある毛の渦巻いた部分。【大杉】ズコ、ズリ、ズーリ、ズイ。
【尾小屋】チリ、ツムジ。
バケ° 頭の禿^{はげ}。【尾小屋】バケ°。【関連】ハケル [動・一] 頭の髪がなくなる。髪がうすくなる。禿^{はげ}る。
トク [動・五] 髪を梳^とかす。【尾小屋】トク [動・五]、トカス [動・五]、スク [動・五]。
ツラ 顔。
ホーベタ 頬^ほ。
マイケ° 眉毛。
メンタマ 目。目の玉。メとも。【関連】クロメンタマ 目の中心の黒い部分。
ヘンカ°ラメ 斜視。
チカメ 近視。【関連】メカ° トーイ 老眼。遠視。【尾小屋】トシヨリメ。トーメ。
メクラ 目の不自由な人。
メモライ 麦粒腫^{ものもらい}。【大杉】メブツテ、メブツター。
シバタキ 瞬^{まばた}き。【関連】シバタク [動・五] 瞬^{まばた}きをする。
マブシー [形] 眩^{まぶ}しい。【尾小屋】マブイ [形]、マブシー [形]。
ゴットバナ 子どもが垂らしているような粘りのある青色の鼻水。【関連】ハナミズ 風邪の時などに出る粘り気のない透明な鼻汁。
ハナペチャ 鼻が低いこと。【尾小屋】ハナビシヤ。
カザ 臭い。【関連】カザスル [動・サ] 臭いがする。【例】エー カザスル (いい臭いがする)。
ハクシヨン くしゃみ。
ミミツンボ 耳の聞こえない人。聾者。
ヌストカブリ 手拭いなどを鼻の下で結ぶ頬かぶり。
ゴロマ うまく話せない人。唾者のことをさす場合も。【尾小屋】ゴロ、ゴロマ。
ドモリ どもる人。【例】アイツワ ドモリヤ (あの人はどもる人だ)。
ツバキ つば (唾液)。ツバとも。
ヘタ 舌。【大杉】ヘラ。【尾小屋】ヘタ、ベロ、シタ。
ハキ°シ 歯茎。ハク°キとも。
ゴタムク [動・五] よく喋る。【関連】ダマリヤ、ダンマリヤ 口数の少ない無口な人。
ワナル [動・五] 叫ぶ。ドナル [動・五] とも。
ハク [動・五] 食べた物を吐く。【尾小屋】アケル [動・一]、モドス [動・五] とも。
アコ°タ 顎^{あご}。
ノドカ° カラカラニナル 喉がかわく。【尾小屋】ノドカ° ホセル。
オシャレボトケ 喉仏^{のどぼとけ}。
ウツブク [動・五] うつむく。
テノオモテ 手の甲。
ニキ°リコブ 握りこぶし。【関連】殴るときはゲンコツと言う。
ベニサシユビ 薬指。女性がこの指で唇に紅をさしたことから。【関連】オヤユビ (親指)、ヒトサシユビ (人差し指)。
コンチビ 小指。コンチ、コユビとも。

ヨコバラ 脇腹。

ドショボネ 背骨を強調して言うときの言い方。

ケツノアナ 肛門。

ダンベ 男性の性器。陰茎。子どもの陰茎はチンチン、チンポと言う。【大杉】ダンベ、チンポ。

【尾小屋】ダンベ。

チャンベ 女性の性器。チャンペとも。【大杉】チャンベ、チャンパー。【尾小屋】チャンペ。

ベベスル〔動・サ〕人間の男女が性交する。ベベスル〔動・サ〕とも。

ツキノモン 月経。【尾小屋】ツキノモノ。

ウンコ 大便。クソ、オンコとも。【尾小屋】オンコ。【関連】ケツシル 便秘。

ションベン 小便。

ヘー 屁。

モモタ 腿。【関連】ウチモモタ 内腿。ソトモモタ 外腿。

マタ 股。【関連】ウチクサ 内股。ソトクサ がに股。

ヒザカブ 膝。

ムコズネ 脛。

コブラ ふくらはぎ。「こむら (腓)」から。

アシクチ 足首。

クロボシ 踝。蚤にも食わすなど言うくらい大切な部分。

キビス 踵。

アシノバン 足の甲。

テッパン 足の裏が固くなっていること。

ケツマズク〔動・五〕つまずく。

チンパヒク〔動・五〕片足が痛いなどの理由でびっこをひく。【尾小屋】チンパオヒク〔動・五〕。

コチョバス〔動・五〕くすぐる。【関連】コチョバシー〔形〕くすぐったい。【大杉】コチョバシ〔形〕。

【尾小屋】コチョバイ〔形〕。

カイー〔形〕痒い。【尾小屋】カイ〔形〕。

エテ〔形〕痛い。【関連】エタミ 痛み。

シンバレ しもやけ。凍傷。

エボ 疔。

イオノメ 足の裏などにできる魚の目。

カタネ できもの。ホドシャ、デキモンとも。

アシェ 汗。

タツシャ 元気。「達者」から。

モノイ〔形〕体が疲れて元気がない。

カジェ 風邪。

ハラクダル〔動・五〕下痢をする。

コエル〔動・一〕太る。

ネマル〔動・五〕坐る動作の総称。

オスワリ 正座。【大杉】ウツバ。【尾小屋】オチョンコ、オチャンコ、オツクバイ、オスワリ。

アクチ 胡座。

イズカク〔動・五〕 しゃがむ。かがむ。
タカバイ 尻を上げて這うこと。
ネコロガル〔動・五〕 寝転ぶ。
イク〔動・五〕 走る。ハシルは運動会などでしか言わない。走って行くときはアワテイクのように言う。
カズク〔動・五〕 かつぐ。背負う。
アベル〔動・一〕 泳ぐ。〔尾小屋〕アビル〔動・一〕。
オボタイ〔形〕 重い。
ヤイト お灸。

2.5 <衣>に関する語彙

フタヨ 冬の着物。二重の和服。
ヒトヨ 夏の着物。浴衣ゆかたなど。
サックリ 作業用の上着。
ジャケット 防寒用肌着。ウール素材でできている。
チャハン 巻き脚半。ゲートル。
ポケ ポケット。カクシポケットとも。〔関連〕ナカポケット 内ポケット。
ラップズボン 裾の広いズボン。
キロット 七分丈のズボン。
ハンパン 五分丈のズボン。
ヘーゼーキ° 普段着。〔関連〕アババ だらしない服装。しまりのない性格をさして言うこともある。アッパッパとも。
クロノフク 洋装の喪服。「黒の服」の意。
ワタイレ 綿入りの着物の総称。袖がない。
ハンチャ 綿の入っている袖ありの胴着。サックリの上に着て仕事をする仕事着。
オフル お下がりの衣服。オロシとも。
アタラシカ° 新品の衣服。「新しいの」の意。
ドーウラ 着物の胴の部分の裏地。〔関連〕ハンウラ 着物の背抜き部分の裏地。
カシマ 誤って衣服の裏と表を間違えること。マチコトルとも。〔関連〕ハンタイコ 衣服の前後を間違えること。
シタ 衣服の裾。
ハダコ ガーゼ素材じゅばんの襦袢。〔関連〕シタジバン 一番下に着る袖の短い襦袢。ハンジバン 浴衣を着るときに着る袖部分がレースの襦袢。フタヨノジバン 冬用の襦袢。
ハダシャツ 下着。〔関連〕シタジャツ 半袖の下着。特に綿素材のもの。
マワシふんどし 褌。
オコシ 女性の腰巻。
アマコ°ート 雨の日用の羽織。〔関連〕ヒチブコート 羽織の一種。
ムジノヒトツモン 法事用の紋付。
ウワッパリ 上着。防寒着。
センダク 洗濯。洗濯物自体を言うことも。〔関連〕アライイタ 洗濯板。センダクダライ 洗濯用の盥たらい。

シワノバシ 熱して衣服の皺を伸ばすのに使った鉄製の道具。【関連】コテ 熱して衣服の小さい場所の皺を伸ばすのに使った鉄製の道具。

コンモリ こうもり傘。【大杉】コンモリカ°サ。【尾小屋】コンモリ。

スポケル〔動・一〕傘などをたたむ。すぼめる。【関連】シモー〔動・五〕しまう。片付ける。

アシタ 下駄の歯が高くなっている雨の日用の高下駄。【大杉】アシダ。【尾小屋】アシタ。

シタ 低い下駄。カンカラとも。

ツマカ°ケ つま先にカバーのついた下駄。

コッポリ 女の子が履く下駄。ぽっくり下駄のこと。カッポリとも。【大杉】カップリ。【尾小屋】カッポリ。

シロタビ 白色の足袋。【関連】イロタビ 普段用の足袋。クロタビ 男性用の黒色の足袋。

ジカタビ 作業用のゴム底の地下足袋。【大杉】チカタビ。【尾小屋】ジカタビ。

カナ 縫い糸。【関連】ゾベイト 飾り縫い用の糸。

オンブヒモ 赤ん坊を背負うときに使う紐。

カナムスビ 二重結び。【関連】カンカラムスビ 固い結び方。カンカンムスビとも。

ホドス〔動・五〕ほどく。【例】イトオ ホドシテ (糸をほどいて)。

モタモタニナル〔動・五〕糸などがからまった状態になる。

ムダケル〔動・一〕糸などがもつれる。【大杉】ムスバル〔動・五〕、ムダケル〔動・一〕。【尾小屋】ムスバカル〔動・五〕、ムスバレル〔動・一〕、ムスバル〔動・五〕。

ホツレル〔動・一〕ほころびる。【大杉】フクロベル〔動・一〕。【尾小屋】ホドケル〔動・一〕。

オゾナル〔動・五〕古くなって擦り切れる。形容詞オゾイ(古い)の連用形オゾ(一)+ナルから。オゾクナルとも。【尾小屋】オゾナル〔動・五〕。【例】クツカ° オゾナッタ (靴が古くなって擦り切れた)。

イタム〔動・五〕衣服の生地などが擦り切れる。

ヘク°〔動・五〕脱ぐ。【例】ソナ アツケリヤー イチマイ ヘク°コッチャー (そんなに暑かったら一枚脱ぐことだ)。

ツブクル〔動・五〕繕う。

クケル〔動・一〕まつり縫いをする。【関連】クケバリ、ナカ°バリ、オオク°ケバリ まつり縫い用の針。

トメバリ 待ち針。【関連】キヌバリ 絹用の針。モメンバリ 木綿用の針。タタンバリ 畳用の針。アミバリ 編物用の針。ミミ 針の穴。ナカ°ミミ 大きい針の穴。

キバサミ 剪定鋏^{ばさみ}。紙用、生け花用の鋏。【関連】ニキ°リバサミ 糸きり用の鋏。

ミタケ 着物の肩から裾までの長さ。「身丈」の意。

タコシアケル〔動・一〕着付けのとき、身長に合わせて裾の長さを調節する。【関連】タコシアケ° 着付けのとき、身長に合わせて裾の長さを調節すること。シモアケ° 男性などが着物の裾を帯に挟んでまくり上げること。【尾小屋】シリマクリ。

カミノカッコ 髪型。

サンパツヤ 理髪店。【関連】カオスリ 散髪の際の顔剃り。カオソリとも。

スル〔動・五〕剃る。【例】ヒケ°オ スル (髭を剃る)。カオオ スル (顔を剃る)。

カッコ 身なり。「格好」から。

ウツル〔動・五〕似合う。【例】アンタ ヨー ウツルワ (あなた、よく似合うよ)。【大杉】ニツク〔動・五〕。【尾小屋】ニオー〔動・五〕、ウツル〔動詞・五〕。

クズレル〔動・一〕衣服がはだける。クズケル〔動・一〕とも。

キリヨーガ°イー〔形〕美しい。美人。「器量がよい」の意。

メンデ〔形〕醜い。メンデクサイ〔形〕とも。〔例〕メンデ カオヤー（醜い顔だ）。〔尾小屋〕メンデ
〔形〕、メンデー〔形〕、メンダイ〔形〕。〔関連〕メンドカ°ワイラシー〔形〕 美人ではないけれども
かわいい。キリョーフルイ〔形〕 不美人。「器量が悪い」の意。

ビンボタラシー〔形〕みすぼらしい。〔大杉〕ヒンソナ〔ナ形〕。〔尾小屋〕ビンボクサイ〔形〕。

ヤンチャクサイ〔形〕みっともない。〔関連〕ヤンチャナ 不潔な。汚い。カマワン だらしない。
身なりに「構わない」の意。

ダテコク〔動・五〕おしゃれをする。〔関連〕ダテコキ おしゃれな人。〔大杉〕ミー カマウ〔動・
五〕。〔尾小屋〕メカス〔動・五〕。

ヒデリポーシ カンカン帽。タカジャッポとも。

マエカケ 前垂れ。エプロン。

ツイボー 杖。〔大杉〕チボ、ツイボー、ツエ。〔尾小屋〕ツイボー。

2.6 <食>に関する語彙

ママ ご飯。食事。

アサメシ 朝食。

ヒラカ°リ 昼飯。昔の言い方。〔大杉〕ヒーリ、ヒンマ、ヒンママ。〔尾小屋〕ヒンママ。

ベント 弁当。〔関連〕ベントカ°ラ 弁当箱。

コービリ 午前・午後の作業中の間食。〔大杉〕ナンカ。〔尾小屋〕コビリ。

ユーメシ 夕食。

コメカ°ラ 粃穀。ヌカとも。〔関連〕ネク°ソナル 炊いたご飯がいたんで臭うこと。

アワモチ もち米の中に粟を入れて搗いた餅。

イモメシ 芋の入ったご飯。

オーモリ ご飯などの山盛りの状態。〔尾小屋〕テンコモリ。〔関連〕スリキリイッパイ 一膳飯。

メッコメシ うまく炊けず芯のあるご飯。

コケ°ツキ ご飯のお焦げ。オコケ°とも。〔大杉〕コケ°ツキ。〔尾小屋〕コケ°。

ヤキメシ 握り飯。昔は握ったあとご飯がくつつかないように表面を焼いたのでこう言った。今はオ
ニキ°リと言う。

セツカン 赤飯。コワメシ、オコワメシ、アカゴハン、アカママ、セキハンとも。〔例〕セツカン ム
ス（赤飯を蒸かす）。〔大杉〕コワメシ。〔尾小屋〕アカママ。

オカユサン お粥。〔尾小屋〕オカイ。〔関連〕オモユ 風邪をひいたときに食べるお粥。

オチャカケママ お茶漬け。オチャズケとも。〔大杉〕チャーカケメシ、チャズケ。〔尾小屋〕チャーカケ
ママ。

ゾンベ 汁の中にご飯・野菜などを入れて煮たもの。雑炊。

ハズシ 柿の葉寿司。秋の祭のときに作る。

ゴモクメシ まぜご飯。マゼゴハンとも。

コー 粉。コナとも。

メリケンコ 小麦粉。コムキ°コとも。

コメノコ 米の粉。ただコナとも。餅を搗いたあと、くつつかないように使ったりする。〔大杉〕ダゴ°
モン、コメノコ。

ナッパ キャベツ、白菜、ホウレン草などの菜類の総称。

ツケモン 漬け物。ツケモノとも。

コーコ 沢庵たくわん。タクアンとも。【大杉】タックアン、タツカン。【尾小屋】コーコ、タクワン。【関連】コンカ 沢庵を漬けるのに使う米糠。ヌカミソとも。

ハベン 薄い板付きの蒲鉾かまぼこ。カマボコとも。

イビス 干天を使った食べ物。今はカンテンとも。

センキリ 切り干し大根。【尾小屋】センマイオロシ。

アブラアケ° 油揚げ。【尾小屋】アブラケ°、アケ°。

ミーデラ がんもどき。

ナットー 納豆。【尾小屋】ナット。

オツケ 味噌汁などの汁物の総称。オツユとも。オツケを飲む場合はスー〔動・五〕と言う。【関連】オスマシ すまし汁。

ミソシリ 味噌汁。

チチ 牛乳、山羊の乳、母乳などの総称。

シオクドイ〔形〕 塩味が濃い。塩辛い。最近ではシオカライ〔形〕とも。【尾小屋】クドイ〔形〕。

アマイ〔形〕 味が薄い。ショーモネー〔形〕、アイソモネー〔形〕とも。砂糖の味もアマイと言う。

【尾小屋】アマイ〔形〕、シオモネー〔形〕。【関連】カライ〔形〕 辛子、わさびなどの味。

スイ〔形〕 酸っぱい。スッパイ〔形〕とも。

エカ°イ〔形〕 あくが強く喉を刺激する状態。【尾小屋】エカ°イ〔形〕、エカ°ライ〔形〕。

ンマイ〔形〕 味がいい。最近ではオイシー〔形〕とも。

ウモネー〔形〕 まずい。おいしくない。ウモナイ〔形〕とも。最近ではマズイ〔形〕とも。【大杉】ウモネ〔形〕。【尾小屋】ウマネー〔形〕、ウモネー〔形〕。

シツコイ〔形〕 味、色、香りなどがあっさりしていない。塩味が強いときはクドイ〔形〕と言う。

【尾小屋】ネバコイ〔形〕、シツコイ〔形〕。

ワルナル〔動・五〕 腐る。クサル〔動・五〕とも。

コーバシー〔形〕 香ばしい。

ナンバ 唐辛子。トーカ°ラシとも。

タイハク 白砂糖。昔の言い方。今はサトーと言う。

ショイ 醤油。昔の言い方。今はショーユと言う。

ドブザケ 甘酒。

ダシジャコ だしをとるための煮干し。【関連】カイクシ だしをとるためのいわしがつお節を削ったもの。

アンマ お菓子。大正以前の言い方。今はオカシと言う。

ヒナカダマ 飴。今はアメダマと言う。

ボチ 餅の総称。語頭のモが同じ両唇音のボに変化した形。最近ではモチと言う。種類によりマルモチ（雑煮に入れたりする丸い餅）、シロボチ（何も入っていない白餅）、ゴンダボチ（うるち米ともち米を混ぜて作った餅）、オシボチ（伸ばした餅）、アワモチ（粟餅）、キビモチ（黍餅）、マメイタ（豆を入れて伸ばした餅）、カキモチ（乾燥させて焼いて作る。いわゆる「おかき」の類）、アンコモチ（餡の入った餅）、サトーモチ（砂糖をまぶした餅）などと言う。

ボタモチ おはぎ。

イルコ 麦を鍋で煎って、ひき臼でひいた粉。「煎り粉」の意。麦焦がし。昔はよく食べた。【例】イルコオ カイテ タベル（麦焦がしを湯にといて食べる）。

ゴツォ 御馳走。ゴチソーとも。【関連】ウマイモン シテ タベルカ（おいしいものを作って食べようか）。【尾小屋】ゴツォー。

ヨソー〔動・五〕 ご飯や味噌汁を茶碗につぐ。おかずを皿に盛ることも言う。【例】ミソシリ ヨソー（味噌汁をつぐ）。【尾小屋】ヨソウ〔動・五〕、モル〔動・五〕。【関連】ツク°〔動・五〕 酒などを盃に入れる。

タク〔動・五〕 煮る。ごはんを炊く。【例】ダイコン タク（大根を煮る）。

イデル〔動・一〕 茹でる。ゆがく場合もイデルと言う。【例】タマコ° イデル（卵を茹でる）。

ヌクシル〔動・サ〕 あたためる（暖・温）。「あたたかい（暖・温）」意のヌクイ〔形〕の連用形ヌク+スルの形から。

ヒヤカス〔動・五〕 水につけてふくらませる。ふやかす。

ムヤス〔動・五〕 蒸らす。

シタジキ 鍋敷き。

シャクシ ごはんをつぐための杓子。今はシャモジと言う。

ホチャ 包丁。ホーチャとも。種類により、ナボチャ（菜切り包丁）、デバボーチャ（出刃包丁）と言う。今はホーチャーと言う。

ハヤス〔動・五〕 野菜などを切る。今はキル〔動・五〕と言う。「切る」の縁起の悪さを避けるため「生やす」と言ったもの。

ハンゾ 水瓶。【関連】ミソカ°メ 味噌を入れる瓶。

シャク ひしゃく。【尾小屋】ヒシャク。

ヒキウス 石臼。挽き臼。

キビソー 急須。昔の言い方。今はキュースと言う。【尾小屋】キウス、キュース。

チャンバチ 井茶碗。「茶碗鉢」から。ハチとも。今はドンブリジャワンとも。

サジ スプーン。匙。

オジェン 膳の総称。種類により、ヒラゴジェン（脚のない平べったい御膳）、ヤスマゴジェン（低い脚のついた御膳）などと言う。

ドビン 鉄瓶。

ヨッパライ 酔っぱらい。【例】ショーノナイホド ヨッパラトル（とても酔っぱらっている）。

イップクシル〔動・サ〕 仕事をひと休みして休憩する。【尾小屋】タバコニスル〔動・サ〕。

ヒダルイ〔形〕 空腹。ハラヘッタとも。【大杉】ヒダルイ〔形〕。【尾小屋】ハラヘッタ。【関連】ハラフクレル〔動・五〕 満腹になる。マンブクとも。

ネブル〔動・五〕 しゃぶる。なめる。

ソコナシ 大食いの人。【関連】ソコノナイホド タベル（底がないくらいたくさん食べる）。

クイケカ°カツ〔動・五〕 食欲がある。

アケル〔動・一〕 嘔吐する。ハク〔動・五〕とも。【関連】ヘド 嘔吐物。ゲボとも。

シュミル〔動・一〕 しみ込む。

スエル〔動・一〕 食べ物が腐りかける。

カシク〔動・五〕 米を研ぐ。【例】コメ カシク（米を研ぐ）。

2.7<住居>に関する語彙

ウチ 家。【例】タチマイ（家の棟上式）。

ジメン 家屋の敷地。【例】ジメンカ° ヒロイ（家の敷地が広い）。

オモヤ 屋敷内の中心である建物。ハナレ（離れ屋）に対するオモヤ。分家に対する本家のことも言う。

クラ 蔵。倉。ドゾーとも。大切な品物や穀物を安全にしまっておく建物。中が涼しいので衣類や食事の道具なども保存していた。【例】クラオ タテシャツシャル（蔵をお建てになる）。

モノオキバ 物置。納屋の中に作ることが多い。家の中の物置はオシイレと言う。

コヤ 小屋。小屋には他に、ブタコ°ヤ（豚小屋）、ウシコ°ヤ（牛小屋）、ウマコ°ヤ（馬小屋）、カイココ°ヤ（蚕小屋）、ニワトリコ°ヤ（鶏小屋）、ベンジョコ°ヤ（便所小屋）などがある。

モノホシバ 洗濯物などを干す場所。「物干場」の意。

カキ 垣根。生け垣。【例】カキ シトケ イノシシ ハイルゾ（垣根を作っておけ、猪^{いのしし}が入るぞ）。

【関連】ヘーカ°キ 塀。

コバシリミチ 家と家の間の狭い路地。村の組の役員が回覧板などを持って来る道だからこのように言う。

カド 家の玄関前の敷地部分。

シェド 家の横や背後の部分など、玄関先を除いた家の周囲の部分。古語「背戸^{せど}」から。

ナカニワ 家の玄関を入った所の土間。

カッテバ 台所。【例】カッテバデ チャ ワカス（台所でお茶を沸かす）。

ナカ°シバ 台所の食品や食器を洗う場所。

ショシヨナケ° 台所や風呂などから出る水を流す排水溝。【関連】ドーケイ 台所からの汚水を溜める所。ドロミズ 台所や風呂から流れ出る汚水。

ドブダメ 汚水を流す溝。

エケ 井戸。【例】エケ オチンナヤ（井戸に落ちるなよ）。【関連】テンスイ 井戸水を汲み上げるポンプ。

フロバ 風呂。浴室。【関連】オケブロ 木でできた湯船。タイルでできた風呂はタイルバリノフロと言う。アシフキ 風呂の入口に置く足拭き用のタオル。

フンダナ 食器を入れる戸棚。

カミサンダナ 神棚。カミサマダナとも。

エン 家の中の廊下部分。縁側。

ダンバシコ° 階段。【尾小屋】ハシコ°ダン、ダンバシコ°。

ゲンクワン 玄関。

アカ°リク°チ 土間から居間に上がる所。【尾小屋】ハマイカ。【関連】ノボリク°チ 階段の昇り口。

ノシカ°ワラ 薄い瓦を何枚も重ねて葺く瓦。

ケムリダシ 茅葺きの家などの屋根にある、煙を出す場所。【尾小屋】ケムリヌケ。

ハウ 家の軒。【関連】ハウシタ 軒下。ノキシタとも。【尾小屋】ハケシタ。

マフサシ 家の庇^{ひさし}。

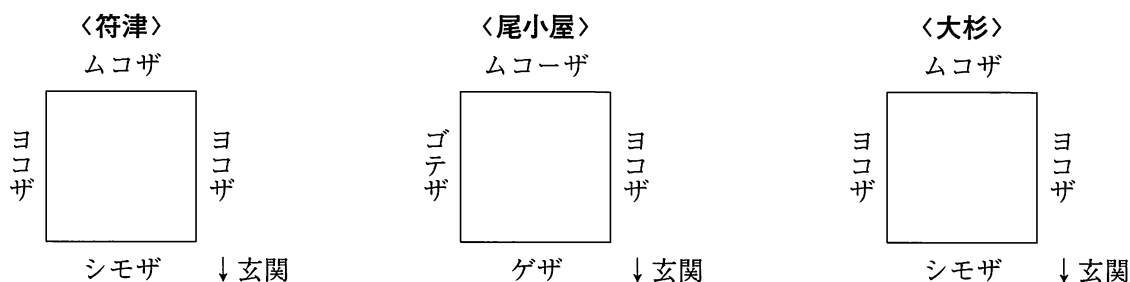
ダイコクバシラ 家の大黒柱。【尾小屋】ゴテバシラ。

タルキ 屋根を支えるために棟から軒にわたす木。垂木。

ネコ°ザ 寝る（昼寝などの）ときに敷く薄い蓆。ウスベリとも。

フスマ 襖^{ふすま}。【尾小屋】カラカミ。

ジョー 鍵。「錠」の意。[例] ジョー カケル (鍵をかける)。ジョー シトケヤ (鍵をしておけよ)。
 アマ 2階の天井部分のこと。天井のない部分を言うことも。[例] アマカ° ススケタ (天井が煤けた)。
 アマモ クロナッタ (天井も黒くなった)。[尾小屋] アマ 中2階の秋に藁仕事などをする部屋。
 ヒヨケ^{すだれ} 簾。[例] ヒヨケ カケント ドーモナラン (日除けの簾をかけないとどうにもならない)。
 コシカケ 椅子。
 フトキ°^{ふとん} 布団。[関連] ナツブトキ° 夏布団。カケブトキ° 掛布団。ウワブトキ° 掛布団。シキブ
 トキ° 敷布団。
 ザブトキ° 座布団。[例] ザブトキ° オ シク (座布団を敷く)。
 ミズタメ 手洗いの器。[尾小屋] チョーズバチ。
 ガンド^{のこぎり} 鋸の総称。[例] ガンドオ ヒク (鋸をひく)。
 ナワヒキ 綱引き。
 チケ°バコ ゴミ箱。
 イリリ^{いろり} 囲炉裏。イロリとも。
 ムコザ 囲炉裏の四座 (四隅の坐る場所) の一つで玄関から入って奥の座。家の主 (祖父、父親、婿)
 が坐る。[大杉] ムコザ。[尾小屋] ムコーザ。
 ヨコザ 囲炉裏の四座の一つでムコザから向かって左右の座。客が坐る。[尾小屋] ゴテザ 囲炉裏の
 四座の一つでムコーザから向かって右の座。
 シモザ 囲炉裏の四座の一つでムコザの正面。玄関に近い座。祖母や母親など女性が坐る。[大杉] シ
 モザ。[尾小屋] ゲザ。



スズリズミ^{すずり} 習字の硯用の墨。
 ヤキバイ 熱い灰。[例] イロリノ ヤキバイ (囲炉裏の熱い灰)。
 キヤス [動・五] 消す。[例] ヒオ キヤス (火を消す)。ジオ キヤス (字を消す)。電灯をキヤ
 スとは言わない。[大杉] ケヤス [動・五]。[尾小屋] キヤス [動・五]。
 ケナク°サイ [形] 綿や髪の毛などが燃えたときに出る臭い。[例] ケナク°サイ ニオイカ° スル
 (きなくさい臭いがする)。[大杉] ケナク°サイ [形]。[尾小屋] ケナクサイ。
 ケスブル [動・五] 燻る。クスブル [動・五] とも。[例] タキキ°カ° ケスブル (薪がくすぶる)。
 オル [動・五] 居る。[例] トーキョーニ ユージンカ° オル (東京に友人がいる)。
 ネカヤル [動・五] 横になる。寝転ぶ。ネカ°ヤル [動・五] とも。[例] ネカヤルト ラクヤワ
 (横になると楽だよ)。ネカヤッテ ヤスム (寝転んで休む)。[尾小屋] ナコ°ナル [動・五]。
 ヒンネマ 昼寝。[例] イマカラ ヒンネマ スルワ (今から昼寝をするよ)。[大杉] ヒンニヨマ。
 [尾小屋] ヒンネマ。

ホークほうき 箒。【関連】タケホーク 竹箒。クサホーク 草箒。ヌイコ°ホーク 脱穀の終わった稲藁の芯（ヌイコ°）で作った箒。【尾小屋】ニンコ°ホーク 稲藁の芯（ニンコ°）で作った箒。

ゴミトリ 塵取り。【大杉】チットリ、チリトリ。

ジブキぞうきん 雑巾。【例】カッター ジブキオ シボレヤ（固く雑巾を絞れよ）。【関連】ジブキカ°ケ 雑巾がけ。

トットク〔動・五〕 とっておく。しまっておく。【例】ドーク°オ トットク（道具をしまっておく）。

オク〔動・五〕 やめる。【例】シコ°ト ハヤメニ オコサ（仕事を早めにやめようよ）。

ミズクミ 井戸つるべの釣瓶。

2.8<民俗>に関する語彙

マユダマ 養蚕業のお祝いで、柳の木や竹にマユダマ（繭玉）を真似た餅、さらに小判の形をしたものや打出の小槌などを下げ、家の大黒柱につけた。戦前養蚕が盛んな頃にやった。

エビスコー 恵比寿講。繊維関係者の祭。女工さんに饅頭やキンカトー（砂糖菓子的一种）を配ってお祝いをした。小松や長崎、安宅などのエビスコーは、女工さんや親戚の人を呼んでごちそうでもてなした。京都の丹後から注文をとってきて小松のハタバ（機場）に仕事をさせるトイヤ（問屋）さんは一流の料亭で芸者さんを呼んで宴会をした。【関連】エビスサマ 恵比寿様。商売の神様。

エーショーカ°ツデ 無事に正月が迎えられたときの挨拶ことば。「良い正月で」の意。

カンダラ 正月料理に使う固く乾燥した棒鱈のこと。

オカカ°ミ 鏡餅。カカ°ミモチとも。カンサマ（神様）のお飾りにする。ナカ°シバ（台所）の水の出る所と火を使うところにも置いて、水の神様と火の神様を祭った。

モモノセック 3月3日のお雛様。桃の節句。お雛様や菱餅を飾った。【関連】【尾小屋】ヒナサン お雛様。

タンコ°ノセック 5月5日の端午の節句。男の子が生まれると家紋の入ったのほりばた幟旗を立てた。幟旗には侍が馬に乗った絵などが描いてあった。【尾小屋】オトコノセック。

オヒガン 春と夏の彼岸。昔はおはぎを食べた。昔は墓参りはお盆のときだけで、彼岸にはしなかった。

オチューケン 7月に娘が嫁いだ家や仕事関係でお世話になった人にした贈り物。鱈や河豚ふぐを開いて干したものを肴として酒といっしょに娘の嫁ぎ先に贈った。

ドヨー 立秋の前の18日間のこと。「土用」。昔から鰻を食べたり、7月25日過ぎに餅をついて食べた。餅には小豆餡を入れ、豆餅などといっしょに娘の嫁ぎ先にも持って行った。6月（田植が済んだ後）には、残った種粳を精米し天日で干し、炒ってイリカ°シ（炒り菓子）を作り娘の嫁ぎ先に持って行った。【関連】ドヨーボシ 「土用干し」。昔は家中の部屋に衣類を吊って干したり、オミヤサン（神社）では祭りの幟旗などを干した。ムシボシとも。

ボンノツキ 8月。

ニーボン ある人が亡くなって初めて迎えるお盆のこと。「新盆」。葬式が終わった後の遺骨をニーボンの間際にお墓に納めお坊さんにお経をあげてもらう。

オボン 8月のお盆のこと。ボンとも。昔（昭和40年頃まで）はお盆には、夜の7時半か8時頃から夜中の12時か1時頃まで盆踊りをした。村中の若者を総動員して、青年団が主催で太鼓を鳴らし、みんなで盆踊り歌を歌いながら踊った。特に8月17日の夜は踊りの輪が四重にもなるほどの賑やかさで、夜明けまで踊ることもあった。

ムシオクリ 「虫送り」。夏に各家々で2メートルほどの竹や薪などを束にして松明^{たいまつ}を作り、それに火をつけて太鼓をたたきながら田んぼ道を歩き、その火に虫を集めて殺す行事。木場潟の広場に松明の残りを集めて篝火をたくように燃やした。

ホンコサン 「報恩講さん」の発音が変化したもの。親鸞上人に報恩感謝の気持ちで行うお寺の行事。これが10月になると各お寺で始まる。【尾小屋】ホンコサマ。

アキヤスミ 秋の稲刈りが終わったあと村全体が一斉にとる休み。仕事を休んで餅をついたり、おはぎを作ったりして食べた。【尾小屋】ヤスンギョ。

ヒチコサン 11月の七五三。神社でお参りをする。昔は今のように派手にしなかった。

ハリクヨー 12月の針供養行事。和裁や洋裁をやっている人が特にした行事。お饅頭やこんにやくなどに折れた針をサイテ（挿して）お寺に持っていき、お経を上げてもらった。

シワス 旧暦の1月で今の12月。冬仕事に家で藁仕事をした（男が俵や縄、女が藁葎や畳表などを作った）。

ススハライ 煤払い。竹の棒に縄を切ったものをつけてする。今では年末に一度する程度だが、昔は囲炉裏でも風呂でも竈でも薪を焚いたので煤がたまり、年に二回はやった。昔は、煤払いを含めて家の掃除がしてあるか、村の役員と警察官が各家を見て回った。【大杉】ススハキ。【尾小屋】ススバライ。

トージ 冬至。昔から脳卒中の予防ということで南瓜^{かぼちゃ}を食べる。南瓜といっしょに小豆を煮ることも。

ボチツキ 餅つき。モチツキとも。昔は各自の家に臼と杵が用意してあって、食べたいと思うといつでも餅をついていた。正月だけでなく、田植後の祝いや土用のときなどについた。【大杉】ボツツキ。【尾小屋】ボチツキ。

オートシ 大晦日。正月の用意として床の間にみかんを乗せた鏡餅を置いた。【尾小屋】オートシ、オーミソカ。【関連】トシノクレ 年末。

オカム〔動・五〕 各家の仏壇や神棚などを拝む。【尾小屋】オカム〔動・五〕、マイル〔動・五〕。

カミサン 神様。神社の氏神様。【尾小屋】カンサマ。【関連】カミサンダナ 神棚。カミサマダナ、カミダナとも。

ホトケサン 仏様。ホトケサマとも。幼児に向かってはマンマンチャンとも言う。正月に雑煮を食べる前に「サー マンマンチャントコ イッテコー（さあ仏様のところに行って来い）」と言って、先祖を拝ませた。【例】サー マンマンチャン イッテキテカラ ゴハン タベルカヤゾー（さあ、仏様に行って来てからごはんを食べるんだよ）。

オミヤサン 神社

オブツダン 仏壇。ブツダンとも。【大杉】ブツダン。【尾小屋】ブツダン、オジョーダン（「お上壇」か）。

オテラサン お寺。オテラとも。【関連】オポーサン お寺のお坊さん。オテラサンとも。

ハカバ 墓地。墓場。ボチとも。

サオ 墓石上部の方形部分のこと。【大杉】ドボ。【尾小屋】サオ。

ジゾーサン お地蔵様。ジゾーサマとも。符津の辺りにはあまりない。

ソーシキ 葬式。【例】シンデモ オカネカ° ネット ソーシキモ ダシエン（死んでもお金がないと葬式も出せない）。アソコノ ジーサン エー ソーシキ シテアタツタンナー（あそこのお爺さんはよい葬式をしてもらったねえ）。

オクウン 棺桶。昔は真四角な箱に死人を膝を折って坐らせて入れた。それをコシ（輿）に乗せて4人でカイト（担いで）運び、村の火葬場（小さな小屋を建てた）で燃やした。そして翌日の朝にお骨を拾いに行った。最近のような寝棺は昔はなかった。今は小松の火葬場へ運んで火葬にする。

大杉 トバコ。 **尾小屋** ドバコ。

ヤキバ 火葬場。「焼き場」の意。カソーバとも。 **尾小屋** サンマイ、カソバ。

ヨトキ お通夜の古い言い方。最近はおツヤ、ツヤと言う。 **尾小屋** ヨトキ、オツヤ。

ヨメドリ 結婚。「嫁取り」の意。最近はケッコンと言う。 **尾小屋** ミョートニナル〔動・五〕、メオトニナル〔動・五〕、イッシュニナル〔動・五〕とも。

リエン 離婚。離縁。リコンとも。 **例** アコニワ リエン サセタトイヤー（あそこの家では離婚させたんだよ）。

ムコサン 花婿。婿。

ヨメサン 花嫁。嫁。 **尾小屋** ニヤーニヤ。

シメダイ 結納金。 **関連** イッシュオーザケ 手打ち酒。「一升酒」の意。結納のこともさした。ホンザケ 「本酒」の意。結納のお金を持って行くこと。

ユイノーガエシ 結納返し。結納のとき先方から貰った酒樽、三宝の上に乗った品物などを床の間に一定期間飾り、後に三宝などの道具を返しに行くとき、生鯛や酒をつけてお礼に行く（1週間以内に）。鯛は2匹腹合わせ（夫婦の意）にする。

カンサマ 仲人のこと。「神様」の意。ナコードとも。 **尾小屋** カンサマ、ナカウドサン、ナコードサン。

ショタイモチ 結婚して分家した人。「所帯持ち」の意。 **関連** ショタイモチカワルイ 家計のやりくりが下手な人のこと。 **例** アソコノ ウチワ ショタイモチカワルインジャ（あそこの家は家計のやりくりが下手なんだ）。

オヤノウチ 実家。「親の家」の意。

ナカガエリ 結婚式をすませて新婚旅行から帰って、しばらく実家に帰ること。 **尾小屋** ナカモドリ。

ミッカノオユ 産後三日目に産婆さんが産湯を使いに来ること。

ネンネヨバレ 出産後に嫁の親類などが呼ばれオヨバレすること（ご馳走されること）。 **尾小屋** ネンネコヨバレ。

ネンネデキル〔動・一〕 子どもができる。ネンネは赤ん坊のこと。デキル〔動・一〕、ハラデコナル〔動・五〕、ハラニクル〔動・カ〕、ニンシンとも。 **例** アニキントコ デキタサケーニ オイワイ モッテカンナン（兄貴の所に赤ちゃんが生まれたからお祝いを持って行かなくてはいけない）。 **尾小屋** オナカニクル〔動・カ〕、ハラデコナル。 **関連** ニンプ 妊婦。デンバラとも。

トリアケババー 産婆さんの古い言い方。今はサンバサンとも。

オミヤマイリ 子どもが生まれたあとの初宮参り。ミヤマイリとも。

デコナル〔動・五〕 大きくなる。育つ。 **例** オー デコナッタンナー（おお、大きくなったねえ）。

ネンネコタンゼン 子どもをおんぶする時に子どもの上から着る袖付きの綿入れ半纏。 **関連** ガメ 子どもをおんぶするときに着る簡単な普段着。袖なしの丈の長い綿入れ半纏。

オダテル〔動・一〕 子どもをあやす。アヤス〔動・五〕とも。 **例** オダテルト ヨロコンデ コエ ダシテ ワロー（あやすと喜んで声を出して笑う）。コノコ アヤスト ワローカンヤ（この子、あやすと笑うんだ）。

モノモライ 乞食。コジキとも。昔は一年に二人か三人は回ってきた。

バケモン お化け。オバケとも。

ヒダマ ひとだま 人魂。ヒダマとも。 **尾小屋** ヒノタマ、ヒダマ。

ヤク 厄年。【例】アコノ カーチャンモ サンジュサンノ ヤクヤサケーニナー（あそこのお母さんも33歳の厄年だからねえ）。

シアワセ 運。ウンとも。シアワセカ° エー（運がいい）、シアワセカ° ワルイ（運が悪い）のように言う。

ゴツツオー ご馳走。ゴチソーとも。

ボチ 餅の総称。語頭のモが同じ両唇音のボに変化した形。最近はモチと言う。餅をつく時期、行事は、正月、田植後の祝い、春祭り、土用、秋祭り、稲刈り後の休み、報恩講など。その他、内輪で餅でも食べようとなると「ソナラ アシタカ アサッテ シゴト チョット ユックリデキルト キ アルサケー ソントキニ モチ ツイテ タベルカ（それなら、明日か明後日、ちょっとゆっくりできる時があるから、その時に餅ついて食べるか）」などということになる。種類によりマルモチ（雑煮に入れたりする丸い餅）、シロボチ（何も入っていない白餅）、ゴンダボチ（うるち米ともち米を混ぜて作った餅）、オンボチ（伸ばした餅）、アワモチ（粟餅）、キビモチ（黍餅）、マメイタ（豆を入れて伸ばした餅）、カキモチ（乾燥させて焼いて作る。いわゆる「おかき」の類）、アンコモチ（餡の入った餅）、サトーモチ（砂糖をまぶした餅）などと言う。

ボタモチ おはぎ。

カタナカ°シ 慰労会。イローカイとも。【例】ドージャ イッペン カタナカ°シスッカー（どうだい、一度慰労会するか）。【関連】アトオキ 法事や結婚式などの大きな行事の後の慰労会。【例】コレデ スッパリ スンダ。サー ホンナラ ユックリ アトオキシナサケー イッパイ ノンデクレー（これですっかり終わった。さあそれではゆっくり慰労会をするから一杯飲んでくれ）。【尾小屋】アトフキ。

ヨミヤ 本祭りの前夜祭。「宵宮」から。最近はやイマツリとも。太鼓をたたいたりする。【尾小屋】ヨンミヤ。

2.9<遊戯>に関する語彙

アソブ〔動・五〕遊ぶ。【例】ソトデ アソボーサー（外で遊ぼうよ）。ソナ アソンドッテ モッタイネー（そんなに遊んでいてはもったいない）。【関連】ヘータイコ°ッコ 兵隊ごっこ。棒でチャンバラをした。

アソンバ 遊び場。大人はそこで盆踊りや運動会、お祭りなどをした。子供は、雑木林や山、湖（木場潟なども遊び場だった。【大杉】アソッパ。【尾小屋】アソンバ。

ウトー〔動・五〕歌う。【例】ウタオ ウトー（歌を歌う）。符津では年に一度演芸大会が開かれ、自分の好きな歌（男は軍歌や支那の歌、女は傘を持って踊る歌）を歌ったりした。

オドル〔動・五〕踊る。【例】ボンオドリオ オドル（盆踊りを踊る）。符津では民家の前庭で開かれる盆踊り大会と演芸大会があった。符津の盆踊りといえば有名で他の村から人が見に来るほどだった。夜中の3時頃まで二重三重の輪になって踊った。【関連】オンドトリ 盆踊りの時、舞台上で音頭を取る人。

ドーラクモン あまり仕事をしないで遊んでばかりいる人。【関連】シェナハケ° 仕事をしない人。主に男性の場合に言う。

ショーブゴト 勝負事。昔は花札をよくやった。麻雀もやった。【関連】カルタ 花札。今はハナフダと言う。バクチ 賭け事。

アミダクジ 籤。ひもの先に何かをつけておいてそれを引いた。何かの代表を決める時や、景品を当てる時に引いた。

ユビキリ 指切り。女の人がよくする。指切りをする時「ユビキリケンマン ウソツイタラ ハリセンボン ノマス」のように言った。**尾小屋** ユビキリカミキリ。

オテマ 手伝いをした時にほうびとして子供がもらうもの。大人に対しては言わない。もらうものはお金よりもお菓子などの食べ物が多かった。

ミシエモノ 見世物。ミセモノとも。金もうけ、商売としてされた見世物のことをさす。5月に小松で行われるお旅祭りのような時にサーカスが来た。**関連** ノゾキカラコ 祭りの見世物で、お金を払って直径10センチほどのレンズを覗くと中に拡大されたものが見える。ノゾキガラスとも。

ジュンカイエーガ 巡回映画。年に数回やってきた。体育館などで上映し、わずかなお金で見ることができた。昭和40年代になると映画館もでき、映画館に見に行くことも増えた。

アベル〔動・一〕 泳ぐ。「浴びる」から。アビル〔動・一〕とも。**例** カワデ アベル（川で泳ぐ）。コード イッテ アビテクッカー（船着場に行って泳いでくるか）。田んぼの手伝いの昼休み、午後1時半から2時の間に木場潟の浅瀬で泳いだ。また水郷地帯で舟で農業をしていたのでコード（船着き場）がありそこでも泳いだ。**関連** ガメオヨキ° ガメ（亀・スッポン）のように手足をもがくようにして泳ぐ泳ぎ。昔は泳ぎ方や速さにもこだわらず人と競うこともなかった。ミズアビ 水泳。水遊び。

リンカイセーカツ 夏休みの学校行事。「臨海生活」の意。小学4～6年生が海岸で民家やお寺に泊まって海で泳ぎ、食事を作って遊ぶ。とても楽しかった。

コドモズモー 子供相撲。オミヤサン（神社）の境内の土俵で小中学生がやるもので、今も続いている。裸に赤ふんどしでやり、勝つと賞品がもらえた。**関連** ミヤズモー 宮相撲。オミヤサン（神社）でやるのでこう呼ばれる。

カケッコ 徒競争。走る競争。運動会ではリレーなど短距離を走った。その時のスタートの号令は「ヨーイ ドン」であった。**大杉** ハシリキョーソー。**尾小屋** ヨーイドン、カケッコ。

タケンマ 竹馬。竹と木を使って縄でユワエテ（結んで）自分達で作った。どのくらい歩けるか練習をした。

タコ 凧。竹ひごと紙で手作りした。絵を描く人はめったにいなかった。凧を上げて遊ぶ時期は正月ではなく春先の雪が溶けてからである。田んぼの太いあぜ道で上げて遊んだ。

スギデッポー 杉鉄砲。杉の種か実のようなものを、穴の直径が5ミリほどのメダケ（笹竹）につめて、自転車のスポークで押し出して遊んだ。**関連** カミデッポー 紙鉄砲。少し太いメダケに紙を噛んで丸めて玉にして遊んだ。ミズデッポー 水鉄砲。竹で手作りした。キカンジュー 連続した音を出せる（玉は打てない）ものも手作りした。

ナワトビ 縄跳び。縄はわら縄で、一人で跳ぶための短いものだけであった。歌や掛け声のようなものはなかった。女性は輪ゴムをつないで飛んだり足に引っかけたりして遊んだ。

ウマトビ 馬跳び。学校の体操の時間や休み時間に友達とした。何人でも列になって順番にやった。

ニンキ°ヨ 人形。遊びとしては女の子のものであった。雛人形は現在ほど立派なものではなく、土や泥で作った人形に色づけしたものであった。五月人形（武者人形とも言った）もあった。

コイノボリ 鯉のぼり。以前は現在の鯉のぼりと違い、上から矢車、吹き流し、鯉、そしてその下に武者の絵を描いた幟のぼりをつけた。幟にはサルコという鈴をつけることもあった。符津の習慣としては、嫁に出した娘に男の子が生まれたらなら鯉のぼり、もしくは武者人形（家が狭かったりアパートであった時）を、女の子が生まれたらなら雛人形を送った。

カミファーセン 紙風船。昔は風船玉というと紙のものが主でゴム風船はあまりなかった。紙風船は富山の置き薬屋さんからもらうことが多く、形は四角で絵などが書いてあった。最近になって丸いも

のも出てきた。ゴム風船はお祭りで見かけた。

ナゾカケアソビ 謎謎遊び。[尾小屋] アカシモン。

テマリ 手毬。ゴムでできていて絵が描いてあるのが主。白いものもある。毬つきするときの歌は、「アンタカタ ドコサ ヒコサ ヒコドコサ クマモトサ クマモトドコサ センバサ〜」というもの。

パー ^{めんこ}面子。パスとも。男の子の遊びで、丸いボール紙でできた面子をたたきつけて、相手の面子をひっくり返したものの、または相手の面子の下に入ったものがもらえる。ひっくり返りにくいように油を塗ったりしたため色が黒くなっていた。面子の絵柄は、戦時中は軍隊、戦車、兵隊などのものが多く、戦後になると野球選手や映画の登場人物などであった。[大杉] カッタ。[尾小屋] パッチ。

ウソッコ 嘘っこ（仮の勝負）。このようなことはあまりせず、一回目から本勝負であった。[尾小屋] タダ。

セキタ 雪駄。スケート靴みたいな草履。それを履いて氷の上を滑った。

ユキワリ 雪かき。「雪割り」の意。[関連] ユキワリニンプ 雪かき（除雪）のための人夫。

オカマ かまくら。雪を集めて踏みしめてから中をくりぬく。その他、冬の遊びとしては、屋根雪が軒下に落ちてたまった雪をもとにスベリダイ（滑り台）を作ったり、畑の上や坂道でタケズキー（竹スキー）やソリ（橇）をした。スキーは細い竹を何本か束にして先端を火であぶって曲げて作った。ソリは木のりんご箱、みかん箱の下に竹のスキーのようなものをつけて作った。

ブランコ ぶらんこ。神社の太い椎の木の枝から荒縄を下げて作った。縄の上に直接座るので切れたりもした。遊ぶのは男の子が多かったが女の子も遊んだ。

オニッコ 鬼ごっこ。鬼ごっこだけをやったということはあまりなく、隠れん坊と関連させた遊びが多かった。

イップク 遊びの一時中断を頼むときの言い方。他に「チョット イップクシンカイ」「イップクシヨースー」などの言い方をした。つまらなかつたり、時間がきて遊びをやめるときは「オイタ」「オーイタ」（やめた）、「モー オコサ」（もうやめよう）などと言った。

バンショー 通せんぼ。「番所」の意か。遊びではなく、ただ相手を通さない、一種の意地悪としてやった。[関連] バンショースル〔動・サ〕 通せんぼをする。

アイケン じゃんけん。かけ声は「アイケンポイ」「アイコデホイ」と言った。物事の順番を決めたり、グループ分けをするときにやった。「カッタモンドーシ」（勝った者同士）、「マケタモンドーシ」（負けた者同士）で分けた。[例] アイケン スルカー（じゃんけんしょうか）。[関連] ゲー、チョキ、パーのことはゲー、ハサミ、パーと言った。[大杉] ヘラ、ハサミ、イシ。[尾小屋] ゲー、カイ、パー。

ハツンマ 肩車。[大杉] サルボンボ、サルブンブ、サルノブンブ。[尾小屋] チョンノクビ。

テナバ 陣取り遊び。テノハバとも。一辺1メートルくらいの正方形を地面に書き、二人で角をとって向かい合って石を手ではじいて相手の石に当てる。当たったら自分の手の幅の分、陣地を取ることが出来る。全部自分の陣地になると勝ち。男女ともよくやった遊び。

オジャミ お手玉。袋の中には石や小豆を入れた。片手では二個以上、両手で三・四個使って遊んだ。[大杉] オジャミ。[尾小屋] オジャメ。

オハジキ おはじき遊び。遊び方は、小さく平べったい石を手の甲に乗せて投げ、手のひらで受取るというもの。小さくてきれいな石を捜して捨ってくる。[大杉] ハジキイシ。[尾小屋] ハジキ。

チドリ 綾取り遊び。太目の糸を使って、川や山、ビブラ（熊手）などの形を作って遊んだ。【例】チドリオ トル（綾取りを取る。）チドリデ アソボ（綾取りで遊ぼう）。【大杉】モンド。【尾小屋】チドリ。

マゼル〔動・一〕 仲間に入れる。【例】マイテ ホシー（仲間に入れてほしい）。マイテクレンカ（仲間に入れてくれないか）。マイテはマゼテがマジテ→マイテと音変化したものか。【関連】オカス〔動・五〕 仲間外れにする。【例】オカシテ シマオーサ（仲間外れにしてしまおうよ）。

エサカイ 喧嘩。諍^{いさか}い。【関連】ナク^りヤンコ 殴り合いの喧嘩。イイヤンコ 言い争い。口喧嘩。【例】アレト イイヤンコ シタ（あいつと言い争いをした）。

ネンコ^ロダ〔ナ形〕 仲がよい。【例】アノヒトト アノヒトワ ネンコ^ロヤ（あの人とあの人は仲がよい）。

エタメル〔動・一〕 いじめる。年下の子をいじめることを言う。子供の間で通用した言い方 【例】アレ ヒトツ エタメテヤルカナ（あいつを一ついじめてやるかなあ）。【関連】キカンボ 言うことを聞かない強い子。

2.10<教育>に関する語彙

ナラウ〔動・五〕 習う。【例】ククオ ナラウ（算数の九九を習う。）オドリオ ナラウ（踊りを習う）。【尾小屋】ナロー〔動・五〕。

テオヤク〔慣〕〔動・五〕 手を焼く。【尾小屋】テヤク〔慣〕〔動・五〕。

シカル〔動・五〕 声を出してとがめる。叱る。【尾小屋】オコル〔動・五〕、シカル〔動・五〕。

ミチクサ 道草。道草をすることを「ブルブラト アソンデカエル」のようにも言った。【大杉】クサミチ、ヨリミチ、ミチクサ。

コジャムメル〔動・五〕 失敗する。【大杉】シズオコネスル〔動・サ〕。【関連】ハカ^イシコトスル〔動・サ〕 もどかしいことをする。

バツテン 罰点。×印。以前はベケとも。【尾小屋】バツ。

フデイレバコ 筆箱。

ゴムケシ 消しゴム。

ショモツ 本。「書物」から。ホンとも。

ホンバコ 本を入れる棚。ホンダナとも。

チョーメン ノート。「帳面」から。

カタイコ カタイ〔形〕は「お利口で聞き分けのよい」といった意味。従って、お利口で聞き分けのよい子。カテーコとも。

ダッチャンボー ダッチャンは「出来の悪い、駄目な」といった意味。従って、出来の悪い子。【大杉】ボカス、ボケス。【関連】ダッチャン ネンネ 出来の悪い女の子。「駄目な子ども」の意。

ゲベット びり。ビリとも。【尾小屋】ゲット、ゲットー、ケツ、ケーツ、ビリ。

ハツメーナ〔ナ形〕 知恵のある。利口な。「発明な」からか。【大杉】コーシャー。【尾小屋】コーシャ。コーシャー、コーシャは「巧者」からか。【関連】ボコイ〔形〕 知恵がない。タラン（「頭が」足りない）の意）とも。下手の意も。

ジー 文字。モジとも。

スズリイレ 硯を入れた箱。【関連】クロズミ 墨。

サンニヨ 計算。勘定。「算用」から。【関連】カンジョー 計算。「勘定」から。

シコム〔動・五〕 技術などを教えこむ。仕込む。

ナジウム〔動・五〕 慣れる。馴染む。ナジム〔動・五〕 とも。

メトニスル〔動・サ〕 貶す。〔尾小屋〕ケバス〔動・五〕、ケナス〔動・五〕。

2.11<人間関係>に関する語彙

ウラ 私。自称代名詞。男女ともに使う。ウララとも。ウララは「私たち（複数）」の意で使う場合もある。〔大杉〕ワシ（男性）。ゲァー、ギャー、ゲー、ウラ（女性）。

タンチ 男の子（大正時代頃までの言い方）。今は名前と呼ぶ。〔大杉〕〔尾小屋〕ポー。

ターター 女の子（大正時代頃までの言い方）。今は名前と呼ぶ。〔尾小屋〕ネンネ。

ワカイシュー 若い男の人たち。青年たち。「若い衆」から。

アンカ 若い男の人に対する呼称（直接呼ぶ場合）・言及称（話題にする場合）。アンチャンとも。

〔大杉〕アンニャ。

ニャーニャー 年をとった女の人に対する言及称。

トーチャン 子どもを持った男の人に対する呼称・言及称。オトツチャンとも。〔大杉〕オトトー、オツツァー、トー、トーチャン。〔尾小屋〕オヤジ。

カーチャン 子どもを持った女の人に対する呼称・言及称。オッカーとも。〔大杉〕オカカ、オッカー、カー、カーチャン。

トシヨリ 年寄り。老人。〔尾小屋〕トッシヨリ。

ジージ 年をとった男性。〔大杉〕オジジ、ジー。〔尾小屋〕ジンジ。

バーバ 年をとった女性。〔大杉〕オババ、バー。〔尾小屋〕バンバ。

ヘネトル〔動・五〕 年のわりに老けている。フケル〔動・一〕 とも。〔例〕トシノ ワリカタ ヘネトルネー（年のわりに老けているねえ）。〔関連〕ヘネコ 年のわりに老けた顔つき、体つきの人。

〔大杉〕ヒネル〔動・一〕。〔尾小屋〕ヒネクラシー〔形〕 老けている。

マセル〔動・一〕 年のわりに大人びる。マセトル〔動・五〕 とも。〔例〕トシノ ワリカタ マセトルナー（年のわりに大人びているねえ）。〔尾小屋〕ベンコナ〔ナ形〕 年のわりに大人びた。ませた。〔関連〕マセンコ ませた子。大人びた子。

ツーツー 父親に対する呼称・言及称。スーツー、マーとも。〔大杉〕オトトー、オツツァー、トー、トーチャン。〔尾小屋〕トー、トート。

カーカー 母親に対する呼称・言及称。オッカーとも。〔大杉〕オカカ、オッカー、カー、カーチャン。〔尾小屋〕カーカー、カーカとも。

ジー 祖父に対する呼称・言及称。ジージとも。〔大杉〕ジー、オジジ。〔尾小屋〕ジー、ジーチャン。

バーバ 祖母に対する呼称・言及称。〔大杉〕バー、オババ。〔尾小屋〕バー、バーチャン。

ヒーージ 曾祖父に対する言及称。〔尾小屋〕デケジージ、トッシヨリジージ、ヒーージ。

ヒーバーバ 曾祖母に対する言及称。〔尾小屋〕デケバーバ、トッシヨリバーバ、ヒーバーバ。

オジサン 伯父・叔父に対する呼称・言及称。オツチャンとも。〔大杉〕オッサマ。〔尾小屋〕オツチャン、オッサン、オジサン。

オバサン 伯母・叔母に対する呼称・言及称。オバチャンとも。〔大杉〕オバサ。〔尾小屋〕オバサン。

ワガコ 実子。

ヨーシ 養子。〔大杉〕モライコ°。〔尾小屋〕モライコ°、ヤシナイコ°。

ムコサン 婿養子。婿のことを話題にする場合の言及称。新郎のことも。〔尾小屋〕ムコサン、ムコサ、ムコ。

ヨメサン 嫁。新婦。
アトツキ° 跡取り。アトトリとも。
ミョートコ° 双子でもとくに男の子と女の子の双子。【関連】フタコ° 双子。ミツコ° 三つ子。
ハラチガ°イノキョーダイ 異母きょうだい。【関連】テテオヤチカ°イ 異父きょうだい。
ウイノコ 初めて生まれた子。
アンチャン 兄に対する呼称。時に言及称としても。【大杉】アンカ。
アネ 姉に対する呼称。時に言及称としても。【大杉】チョー、アネサ、ニャー、ネーチャン。
オッサボ 次男の言及称。【大杉】ニバンオジ、オジ、オジボー。【尾小屋】オッサ、オッサマ。【関連】オジボ 二番目以下の男兄弟に対する言及称。
スエッコ 末っ子。【尾小屋】オトコ°。【関連】【大杉】サンバンオジ、チサボー、コッパオジ。【尾小屋】コッパオジ、コッパ。 男兄弟の末っ子。三男をさす場合も。
ヒマコ° 曾孫。^{ひまご}【大杉】ヒコ。【尾小屋】ヒコ、ヒマコ°。
チャシャコ° 玄孫。^{やしやご}【大杉】マタコ°。【尾小屋】シャシャコ°。
オイッコ 甥。オイとも。
メイッコ 姪。メイとも。
マタイトコ またいとこ（又従兄弟・又従姉妹）。
オトコジュート 舅。
オンナジュート 姑。
ギリノオヤ 養父母。ヨーフボとも。【尾小屋】ヤシナイオヤ。【関連】ママチチ 継父。ママハハ 継母。ママオヤとも。
ダンナ 夫の言及称。オット、オヤッサンとも。
カーチャン 妻に対する呼称・言及称。
ミョート 夫婦。フーフとも。
ゴケサン 夫を亡くした女性。後家。ゴケとも。【例】アノヒトワ ゴケデ オルナー（あの人は後家でいるねえ）。【尾小屋】ゴケサ。
ヒトリモン 独身。独り者。【尾小屋】ヒトリミ。【関連】ヤマメ 独身の男性、あるいは妻を亡くした男性。
ニコ°サン ^{めかけ} 妾。二号さん。メカケとも。【関連】テカケ 性交渉をもった妾。
オモヤ 本家。
ショタイデ 分家。【尾小屋】ショタイデ、アトラシヤ。
シンルイ 親戚、特に父方の親戚を言うことが多い。シンシエキとも。【尾小屋】イツケ、シンルイ。
ウチ 家。イエ、スマイとも。【関連】ショタイ 家庭。
コモリ 子守り。【大杉】【尾小屋】ネンネモリ。【関連】ウバ 乳幼児の守りをする人。
イサカイ 喧嘩。【大杉】ヨサカイ。【尾小屋】エサカイ。
ヤンチャ いたずら。【関連】ヤンチャコ° いたずらっ子。【例】ヤンチャコ° トオ アマエル（いたずらっ子が駄々をこねる）。【大杉】ヤンチャボー。
イジル〔動・五〕 いびる。【尾小屋】イタメル〔動・一〕、イビル〔動・五〕。【関連】ヨメイジリ 嫁いびり。
ヒネル〔動・五〕 すねる。イジケル〔動・一〕とも。
ネダル〔動・五〕 ねだる。【大杉】【尾小屋】セブル〔動・五〕。

アバレル〔動・一〕 ふざける。フザケル〔動・一〕とも。〔尾小屋〕カスオコス〔動・五〕。
オテンバ お転婆。〔大杉〕コワロマサリ。〔尾小屋〕テンバムスメ。〔関連〕ガンコナコ 気の強い女の子。
メンコイ〔形〕 かわいい。カワイー〔形〕とも。〔大杉〕エチャケナ〔ナ形〕。〔尾小屋〕エチャキナ〔ナ形〕。
メンドイ〔形〕 顔形が醜い。
ジャマクサイ〔形〕 わずらわしい。〔尾小屋〕ジャマクセー〔形〕、メンドクサイ〔形〕。

2.12<社会・交通>に関する語彙

オー〔動・五〕 会う。〔例〕オーテキタ(会ってきた)。
シバラクヤッタネー 親しい人に久しぶりで会った時の挨拶ことば。タツシャカネー、ドーシトツタとも。〔大杉〕ナニシトルンニャ。〔尾小屋〕ドーシトツタ ゲンキカ、シバラクブリ。〔関連〕ヒサシブリヤネー 目上の人に久しぶりで会った時の挨拶ことば。ヒサシブリデスネーとも。
カエッタヨー 家に帰ったときの挨拶ことば。タダイマー、イマキタワーとも。〔大杉〕イマキタワ、イマッタワ。〔尾小屋〕タダイマ。
オハヨーサン 朝の挨拶ことば。おはよう。オハヨーとも。〔尾小屋〕オワヨサン、オハヨー。
コンノヒト 昼に他家を訪ねて玄関で呼びかける挨拶ことば。「この家の人(はいらっしゃるか)」の意。オイデルカとも。若い人はマイドサンなどとも言う。〔大杉〕コンネ。〔尾小屋〕コンノヒト、コンニチワ。
コンネー 夜に他家を訪ねて玄関で呼びかける挨拶ことば。〔尾小屋〕オイデルカ、オツテカ、コンバンワ。
オイデルカ 他家を訪ねて玄関で呼びかける挨拶ことば。オイデルカは「はいらっしゃるか」の意で、相手の家人の所在を尋ねている。〔大杉〕ゴザルカ、オルカ。〔尾小屋〕オイデルカ、オツテカ。
オヤスミー 寝るときの挨拶ことば。
サイナラー 別れるときの挨拶ことば。サイナラとも。ほかに、夜に別れる場合はオヤスミー、車で帰る人にはキオツケテ、仕事の後に別れる場合はゴクローサン、明日会うことがわかっている場合はマタネーなどとも言う。〔尾小屋〕ソナラー、マタネー、オサキニ、ゴクローサンなど。
アリカトー 何かしてもらったときのお礼の挨拶ことば。アンヤトー、イトシゲニとも。〔大杉〕シヨツシャ、ショーシャ。〔尾小屋〕キノドクナー、アンヤトー、シヨツシャナー、イトシギニ。
ゴツツオサン 食べ物をもらったときのお礼の挨拶ことば。アリカトーとも。
スンマセン 謝るときのことば。
オー 返事の「はい」にあたる言い方。アイ、アイアイ、ナンヤーとも。〔大杉〕オイ、アイアイ。〔尾小屋〕ナンヤー、アラ ナンヤー。
ソナナイ 返事の「いいえ」にあたる言い方。ソネーワ、イヤネーとも。〔大杉〕ナーモ、ナンモ、イヤイヤ。〔尾小屋〕ソナナイ、ソネー、ソネーワ、ソネーソネー。
アツマル〔動・五〕 人が集まる。〔例〕デカト アツマツル(たくさんの人が集まっている)。〔尾小屋〕ヨル〔動・五〕。
アツメル〔動・一〕 いっしょに集める。〔大杉〕ヒトマジェニスル〔動・サ〕。〔尾小屋〕ヒトマトメニスル〔動・サ〕。
イトシゲノー 遠慮をする気持ちを表すことば。キカネヤーとも。〔尾小屋〕キカネヤー。

カモー〔動・五〕 おせっかいをする。人のことを構う。カマウ〔動・五〕とも。〔例〕ヒトノコト
カモーナ(人のことを構うな)。〔関連〕チャベチャベ カマウ 何やかやと構う。おせっかいをする。
チャベとはおしゃべりな人、おしゃべりなことをさす。オセツカイヤキ おせっかいな人。〔大杉〕
シェツカイ。〔尾小屋〕オシェツカイ。

オベッカ お世辞。〔大杉〕ベントタレル(お世辞を言う)。〔尾小屋〕ベントレ(お世辞ばかり言う人)。
チョツカイカケル〔動・一〕 からかう。カラカウ〔動・五〕とも。〔大杉〕カカリ ユー〔動・五〕、
オチョクル〔動・五〕。〔尾小屋〕チョツカイカケル〔動・一〕。

ワケナシ しっかりできないこと。

メンドナ〔ナ形〕 厄介な。〔例〕メンドナ コヤ(厄介な子だ)。
ジェツコー 絶交。交際を一切やめること。〔大杉〕ドハスル〔動・サ〕。

イランモンニスル〔動・サ〕 人を無視する。アイテニシェンとも。

カンニンシテー 人に対して謝るときのことば。「堪忍」から。カンニンシテツタイとも。〔尾小屋〕
カンニン、ゴメンナサイ。

キコ°コロガ°ワカル 気を許して信頼する。

テニオエン 手に負えない。〔例〕テニオエン コヤネ(手に負えない子だね)。

アシメル〔動・一〕 頼る。頼みにする。タノミンスル〔動・サ〕とも。〔大杉〕アシメル〔動・下一〕。
〔尾小屋〕アシメニシル〔動・サ〕。

ダマカス〔動・五〕 騙す。ウソコク〔動・五〕、ダマス〔動・五〕とも。〔例〕ダマカイテ ツレテク
(騙して連れて行く)。〔大杉〕ウソコク〔動・五〕。〔尾小屋〕ダマカス〔動・五〕、ウソコク〔動・五〕。

スタレル〔動・一〕 廢れる。〔尾小屋〕スタル〔動・五〕。

メンドクサイ〔形〕 器量が悪い。体裁がよくない。みっともない。メンドイ〔形〕とも。〔大杉〕メ
ントナ〔ナ形〕。〔尾小屋〕メンデー〔形〕、メンデ〔形〕。

ヘシナイ〔形〕 待ち遠しい。

ウチ アケル 留守にする。

ダイジニスル〔動・サ〕 敬う。大切にする。〔例〕ダイジニシェ(大切に敬いなさい)。〔大杉〕アケ°
マス〔動・五〕、ウヤマウ〔動・五〕、ウヤモー〔動・五〕。

メトニスル〔動・サ〕 人を見下す。見下げる。〔大杉〕メトンシユル〔動・サ〕。〔尾小屋〕メトニスル
〔動・サ〕

ヨブ〔動・五〕 人を大声で呼ぶ。人を招く。ごちそうをしてもてなす。〔大杉〕ヨボル〔動・五〕。
〔尾小屋〕ヨブ〔動・五〕。ヨボル〔動・五〕。

エーハナシ おめでたい話。「よい話」の意。〔例〕エー ハナシヤナー(いい話だねえ)。
シャワシェ 幸せ。〔尾小屋〕シャワシェ。

ヒドイ〔形〕 (病気など体調が悪くて) つらい、苦しい。〔大杉〕ヒドイ〔形〕。〔尾小屋〕ヒドイ〔形〕、
モノイ〔形〕。

ゴマカス〔動・五〕 人目をあざむく。だます。〔尾小屋〕カスメル〔動・一〕、ゴマカス〔動・五〕。

ホラフキ 嘘をつく人。ジマンフキとも。〔大杉〕ウソコキ。〔関連〕テンポコキ 大げさな嘘をつく人。

ウタコ°ー〔動・五〕 疑う。

メンドイ〔形〕 顔形が醜い。〔大杉〕メンデー〔形〕。

ハガムク〔動・五〕 腹を立てて口答えをする。人にことばで逆らう。〔大杉〕〔尾小屋〕ハコ°ムク
〔動・五〕、ゴタムク〔動・五〕とも。〔関連〕ハコ°タエ 口答え。文句。苦情。

サカロウ〔動・五〕 逆らう。【例】ナカレニ サカロウテ オヨグ (流れに逆らって泳ぐ)。
 アテコスル〔動・五〕 皮肉を言う。意地悪を言う。
 ハガイ〔形〕 くやしい。憎たらしい。不満な。【例】ハガイコト ユー (憎たらしいことを言う)。
 アイソムナイ〔形〕 つまらない。拍子抜けする。【尾小屋】アイソモナイ〔形〕。
 アッコウ 悪口。「悪口」の音読みから。【尾小屋】アッコウ、ワルクチ。
 クドク〔動・五〕 告げ口する。【例】コドモカ オトナニ クドク (子どもが大人に告げ口する)。
 ワナル〔動・五〕 怒鳴る。大声で呼ぶ。【例】ワナッテ アルク (怒鳴って歩く)。ドレダケ ワナ
 ッテモ デテコン (いくら大声で呼んでも出て来ない)。【尾小屋】ワナル〔動・五〕、ドナル〔動・
 五〕。
 コトズケ 言伝て。言付け。【大杉】コトツケル〔動・一〕 言付ける。
 ヘンガイスル〔動・サ〕 断る。拒絶する。【例】タノマレタケンド ヘンガイシタワー (頼まれた
 けど断ったよ)。
 ボンクラ 頭が悪い。
 ショマナイ〔形〕 下手な。ヘタクソとも。
 カル〔動・五〕 借りる。【関連】カシチャル 貸してあげる。
 マドー〔動・五〕 元どおりに弁償する。【例】ジェンデ マドー (お金で弁償する)。
 ワケル〔動・一〕 配る。分配する。クバル〔動・五〕とも。【大杉】キバル〔動・五〕。【尾小屋】ワケ
 ル〔動・一〕、クバル〔動・五〕。
 モロー〔動・五〕 貰う。【例】モロタ (貰った)。
 アタル〔動・五〕 貰える。～テアタルで「～てもらえる」の意でも使われる。【例】カシテアタルカ
 (貸してもらえるか)。
 ヤル〔動・五〕 殺す。コロス〔動・五〕とも。
 トル〔動・五〕 盗む。【例】アノヒトカ トッタ (あの人が盗った)。【関連】ヌスト 泥棒。
 シャクニシャワル〔動・五〕 シャクにさわる。腹が立つ。
 ツメル〔動・一〕 抓る。チミル〔動・五〕とも。【尾小屋】チミカク〔動・五〕、ツメカク〔動・五〕。
 カヤル〔動・五〕 転ぶ。倒れる。
 ザイショ 都会に対する田舎。村。「在所」から。イナカとも。【大杉】ザイコー、ザイシュ、ブラク。
 【尾小屋】ザイショ。
 イナカモン 都会育ちでない人を卑しめた言い方。
 ヤマンモン 山間地に住んでいる人。「山の者」の意。
 グルリ 周り。周囲。【大杉】グルリ。【尾小屋】グルジ、グルリ。【関連】ウチメクラ 家の周り。
 ダイハチク ルマ 大八車。【尾小屋】ダイハチ。
 イキアタリ 行き止まり。突き当たり。【大杉】ユキアタリ。【尾小屋】イキドマリ。
 ハナ 端。端の方。ハシッコとも。【尾小屋】ハシッコ。
 オトナシー〔形〕 静かな。【例】オトナシーカニ ハナス (静かな口調で話す)。
 マルタバシ 一本の丸木でできた橋。「丸太橋」の意。【関連】カズラバシ 蔓を編んで作った橋。
 エコサ 行こうよ。「行こう」にあたるエコにサ(勧誘の意の終助詞)が付いた形。イカンカ(「行か
 ないか」の意)とも。【関連】ゴザル いらっしゃる。「行く・来る・いる」の尊敬語。
 ホール〔動・五〕 投げる。放り投げる。ホリツケル〔動・一〕とも。

ツンダッテイク〔動・五〕 人といっしょに行く。「連れ立って行く」から。

ポー〔動・五〕 追う。追いかける。オッカケル〔動・一〕とも。〔例〕ポーテキタ（追ってきた）。

ポイカケテキタ（追いかけてきた）。

リンキスル〔動・サ〕 やきもちを焼く。

2.13<行動・感情>に関する語彙

シェク〔動・五〕 急ぐ。セク〔動・五〕とも。〔例〕シェーテイク（急いで行く）。セカントイカッセ（急がないでゆっくりいらっしゃい）。〔関連〕ハヨ シェーマ（早くしろよ）。〔大杉〕シェク〔動・五〕。〔尾小屋〕セク〔動・五〕。ハヨスル〔動・サ〕。

タンキムシ 気が短い人。「短気虫」の意か。キンカン、キンカンベとも。

ハケル〔動・一〕 色が落ちる。色が褪せる。

ダチャカン 駄目。「埒明かぬ」から変化した語。ダチカンとも。〔大杉〕ダチャカン、ダチカン。

〔尾小屋〕ダッチャン、ダチカン。

コロゲル〔動・一〕 倒れる。転ぶ。コロビル〔動・一〕とも。〔尾小屋〕カヤル〔動・五〕。

ナコナル〔動・五〕 体を横にして寝た形になる。「長くなる」の意。〔関連〕ドクサル〔動・五〕 人が横になっていることに腹を立てて悪く言う言い方。

アブル〔動・五〕 火にあててあたためる。

ヤカマシ〔形〕 うるさい。騒々しい。〔例〕ヤカマシ ユーナ（うるさく言うな）。〔関連〕コヤカマシ〔形〕「やかましい・うるさい」の意の強調形。

コンジョー 心。〔例〕コンジョー オチツカセテ（気持ちを落ち着かせて）。

シル〔動・サ〕 する。

エロー〔動・五〕 さわる。〔例〕エロワントイテ（さわらないでおいて）。

ニガム〔動・五〕 物を力を入れて握る。

ズル〔動・五〕 這う。〔例〕ズッテ アガル（這って上がる）。〔関連〕ズリコム〔動・五〕 入り込む。

ホー〔動・五〕 這う。〔例〕ミミズガ° ホートル（^{みみず}蚯蚓が這っている）。アカチャンカ° ホーヨーニナル（赤ちゃんが這うようになる）。〔大杉〕ホー〔動・五〕。

オク〔動・五〕 やめる。あきらめる。〔例〕オカッセ（やめなさい）。オキマッシ（やめなさい）。

エムクリ 気分。否定的な気分の場合に使う。〔例〕エムクリカ° ワルイ（気分が悪い）。

クツツリ 納得。〔例〕クツツリ セン（納得しない）。〔関連〕クツツーリ 満足。

ガテン ^{がてん} 合点。納得。〔例〕ガテン デキン（納得できない）。

ムサーイ〔形〕 心配だ。シンパイとも。〔例〕ムソーテ ムソーテ オレン（心配で心配で、いられない）。ムサイ コッチャ（心配なことだ）。〔大杉〕キーヤム〔動・五〕。キニヤム〔動・五〕とも。

〔尾小屋〕ムサイ〔形〕。

ハケ°ー〔形〕 悔しい。ハカ°イ〔形〕とも。「歯痒い」から。〔例〕ハケ°コッチャケド シャーナイ（悔しいことだけれど仕方がない）。ハコ°ーテ ミテオレンワネ（歯痒くて見ていられないよ）。

〔大杉〕ハカ°イ〔形〕、ハンカ°イ〔形〕。

キー 気分。気持ち。〔例〕キーア オボタイ（気が重い）。キャ ラクーニナツタ（気が楽になった）。

キーハルヨー（ありがとう。すみません）。キー ヌイトル マニ ミズ イレスキ°タ（油断している間に水を入れすぎた）。

イトツシャ 悲しいできごとに対して、気の毒な・かわいそうな。エトツシャとも。
エマサッキ〔副〕 つい先程。
イヤイヤ〔副〕 しぶしぶ。仕方なく。〔大杉〕ショーコタナシニ〔副〕。〔尾小屋〕シカタナシニ〔副〕、
ショーコタナシニ〔副〕、イヤイヤ〔副〕。
ナンデ〔副〕 なぜ。どうして。
アク〔動・五〕 飽きる。〔例〕ヨー アイタ (大変飽きた)。
アクレル〔動・一〕 あきれる。〔例〕アクレタ ハナシヤ (あきれた話した)。
ジョー ハル〔慣〕 意地をはる。〔関連〕コンジョー ワルイ 意地がわるい。シネクネモナイ〔形〕
いやらしいことを言う。どうしようもない。
ケナルイ〔形〕 羨ましい。〔例〕ケナルテ ケナルテ シカタカ^ナナイ (羨ましくて羨ましくて仕方がない)。
〔関連〕ケナルカ^ル〔動・五〕 羨ましがる。
ビックリシル〔動・サ〕 驚く。タマケ^ル〔動・一〕とも。
ココロノ カワイラシー〔慣〕 心が優しい。〔尾小屋〕キノイーヒト 気持ちの優しい人。
ジョンナ〔ナ形〕 つまらない。面白くない。怪しい。〔関連〕ジョンナ ヒト 変わり者。
コスカン〔形〕 憎い。ずるい。コースカン〔形〕とも。〔関連〕スカンタラシ ずるい人。
テナワン 乱暴な。テナアワン (手に合わない)の音変化形。〔関連〕テナワンモン 乱暴者。
マセンコ ませた子。大人びた子。
テンポナ〔ナ形〕 大変。とても。すごく。〔関連〕ワケンナイ〔形〕 非常に。大変。とても。
コンジョヨシ 気がいい人。お人好し。コンジョーヨシとも。
ネンコ^ロナ〔ナ形〕 親切な。
キバル〔動・五〕 頑張る。力む。〔例〕キバラッセ (頑張ринаさい)。
ガノキツイ〔形〕 我が強い。
ドーモナラン どうしようもない。無理。〔例〕ドーモナランダワネ (どうしようもなかったよ)。
ケチンボー けちな人。
ケンカ^ワルイ〔形〕 縁起が悪い。ケチカ^ワルイ〔形〕とも。
モケ^ル〔動・一〕 貶す。
ヒンソナ〔ナ形〕 貧弱な。みすばらしい。「貧相な」から。ピンボクサイ〔形〕とも。
ヨクンボ 欲張りな人。ヨクナヒトとも。〔大杉〕ヨクナ〔形〕。〔尾小屋〕ゴーヨク。
ドクショーナ〔ナ形〕 性格が悪い。「毒性な」から。〔例〕ドクショーナ ヒト (性格の悪い人)。
〔尾小屋〕コンジョワ^ル。
ショーノワ^ルイ〔形〕 性格が悪い。「性の悪い」から。
ダランテナ〔ナ形〕 だらしない。
ニツク〔動・五〕 似合う。〔例〕ニツカン (似合わない)。
ナリ 体格。
ゲス 下品。
セナハケ^ナ 怠け者。怠けて動かないでいると背中が乾いてくることろから。
セコ^ダシ ふてくされていること。
ムスリヤ ものを言わない人。
シコ^ツシ 働き者。「仕事士」からか。〔尾小屋〕マメナ〔ナ形〕。
セーダス〔動・五〕 一生懸命やる。

ヒドイ〔形〕 (病気や体調が悪く) 苦しい。つらい。ツライ〔形〕とも。〔例〕ワケンナイ ヒドイ (とても苦しい)。ヒドロー (大変。とても)。〔尾小屋〕コワイ〔形〕、ヒドイ〔形〕、モノイ〔形〕。
タイソナ〔ナ形〕 病気などでつらい。モノイ〔形〕とも。
メッラシー〔形〕 珍しい。
ダラ 愚かなこと。馬鹿。また、そのような人。語源的にはタラズ (<頭が>足りない) →ダラズ→ダラと変化した。タランマとも。〔尾小屋〕ダラ、ダラケ、アホンダラ。
ボコイ〔形〕 馬鹿な。オロカナ〔ナ形〕とも。
ハツメナ〔ナ形〕 賢い。
コーシャナ〔ナ形〕 利口な。甲斐性がある。要領がいい。〔尾小屋〕カタイ〔形〕。
アマンジャク わざと他人に逆らう人。天の邪鬼。ヘンクツモンとも。〔尾小屋〕ヘンクツモン。
ワロー〔動・五〕 笑う。〔例〕ザクツテ ワロー (皮肉な笑い方をする)。オチョクツテ ワロー (からかって笑う)。
エチャケナ〔ナ形〕 愛嬌がある。〔尾小屋〕エチャケナ〔ナ形〕。チャメ〔ナ形〕。
アイソラシー〔形〕 愛想がよい。〔関連〕アイソノエー 愛想がよい。〔尾小屋〕アイキョー マク〔慣〕 愛嬌を振り撒く。
アクレル〔動・一〕 愛想がつきる。
ガラガラナ〔ナ形〕 陽気な。オモシオイ〔形〕とも。
ベンチャラユー〔動・五〕 ご機嫌をとる。〔尾小屋〕オベンチャラコク〔動・五〕。
モッテツケル〔動・一〕 もったいぶる。モツタイトケル〔動・一〕とも。
ヨースコク〔動・五〕 真似て振舞う。
オトナシー〔形〕 優しい。穏やかな。
オットロシー〔形〕 怖い。危険だ。オットロシー〔形〕とも。〔尾小屋〕オットロシー〔形〕。〔関連〕オットロシカ^リ 臆病者。コンジョー チーサイ〔慣〕とも。〔関連〕オットロシー〔形〕 激しい。甚だしい。
オモッショイ〔形〕 滑稽な。面白い。楽しい。オモソイ〔形〕とも。〔関連〕タノシミナ〔ナ形〕 愉快だ。〔尾小屋〕オモシー〔形〕。キョクナ〔ナ形〕。
スッキヤ〔ナ形〕 好きだ。〔例〕スッキヤワネー (好きだよ)。
ヨテノエー〔形〕 好き勝手な。得意な。〔関連〕エテ 得意。〔例〕エテン シトル (得意にしている)。エテカ[°] エー (得意な)。
イヤヤ〔ナ形〕 嫌いだ。スキンナイ〔形〕 (好きではない) とも。
セーモム〔動・五〕 いらいらする。腹を立てる。「精もむ」の意か。〔大杉〕シェーモム〔動・五〕、シャモメル〔動・下〕。〔尾小屋〕セーモム〔動・五〕。
エトシー〔形〕 悲しい。
ウレシー〔形〕 嬉しい。〔大杉〕ウルッシャ〔形〕。〔尾小屋〕ウレッシャ〔形〕。
サビシ〔形〕 寂しい。〔尾小屋〕サビシー〔形〕。
ソクサイヤ〔ナ形〕 元気だ。〔大杉〕ソクサイヤ〔ナ形〕 〔尾小屋〕タッシャヤ〔ナ形〕。ソクサイヤ〔ナ形〕。
ヨワル〔動・五〕 困る。〔例〕ドーモナラン ヨワッタ (どうしようもなく困った)。
シャーナイ〔形〕 仕方がない。〔尾小屋〕チャーツカン、シャーネー〔形〕、シャーナイ〔形〕、シャーナシヤ〔ナ形〕。

アンジル〔動・一〕 心配する。「案じる」の意。
クドク〔動・五〕 愚痴を言う。
クドイ〔形〕 性格的にしつこい。ヒツコイ〔形〕とも。〔尾小屋〕ヒツコイ〔形〕、シツコイ〔形〕
ネチツコイ〔形〕。〔関連〕クドイ〔形〕 塩味が濃い。
ヨースガ°ワルイ〔慣〕 見た目が悪い。がらが悪い。〔関連〕ヨースノイー〔慣〕 見た目がいい。
タチ 性質。性格。
ゴツゾサマナ 「ありがとう」にあたる感謝の意のことば。「ご造作様な」からか。
エトシキ°ニ 「ありがとう」にあたる感謝の意のことば。〔尾小屋〕イトシケ°ニ、エトシケ°ニ、キ
ノドクナー、ショッシャナー。
カンニンシテ 相手に謝る時のことば。スマンネー、キノドクニとも。
ドシテヤ 人と会った時に相手の安否を気遣って言う挨拶のことば。
ドショボネニ カチコム〔慣〕 しっかり忘れないようにする。ドショボネは背骨の意。〔例〕ドショ
ボネニ カチコンデ キートケ（しっかり忘れないように聞いておけ）。

2.14<時間・空間・数量>に関する語彙

トキ 時間。ジカンとも。〔例〕トキヤー タツ（時間が経つ）。
トシ 年齢。〔例〕アンタ トシ アカイテミー（あなた、自分の年齢を言ってごらん）。
キンノ 昨日。キンノノアサ 昨日の朝。
ミヨーアサ 明日の朝。
ヒラカ°リ お昼の食事のこと。ヒルとも。〔例〕ヒラカ°リヤゾー（昼ご飯だよ）。ヒルニ ショーマ
イカ（お昼ご飯にしようか）。
ヒルカラ 午後。
ヨサリ 夜。
コンニヤ 今夜。以前は、お年寄りが夜の挨拶「こんばんは」にあたるものとしてコンニヤと言っ
ていた。
イチニチハサミ 1日おき。イチニチオキとも。
ヨドーシ 一晩中。「夜通し」の意。〔例〕ヨドーシ シャベル（一晩中しゃべる）。
イチンチジュー 1日中。
ヒナカ お昼をはさんで午前・午後の4時間ほどの間。〔関連〕ハンベナカ ヒナカのうちの半分の2
時間ほど。
ツキジマイ 月末。ツキオワリ、ゲツマツとも。
ウツソームキ 後ろ向き。
アワシャ 間^{あいだ}。アイダとも。〔例〕ツクエト ツクエノ アワシャ（机と机の間）。〔尾小屋〕アワシャ、
アイサ、アイダ。
トツパナ 一番端。
キノコツパ 木の切れ端。
メン 机の端の部分。ツラとも。
バッシ 末っ子。「末子^{ぼっし}」から。
コンタシャ この次。今度。3～4日後のこと。コンタシとも。〔尾小屋〕コンツキ°、コンタシャ。
ヨンベ 昨日の晩。夕べ。〔尾小屋〕ヨンベ、ユンベ。

オトツイ 一昨日。

サキオトツイ 一昨昨日。

キンノ 昨日。

キヨー 今日。キヤーとも。

エマ 今。イマとも。【例】エマワ ヨイ ジダイヤ (今はいい時代だ)。

トーニ〔副〕 とつくに。

モトカラ〔副〕 もともと。昔から。

コンデ これで。これでもう。モー〔副〕とも。【例】コンデ ヨロシ (もうこれでいい)。

ニワカニ〔副〕 急に。【例】ニワカニ キテ スンマセン (急に来てすみません)。

シェーテ〔副〕 すぐに。早く。【例】シェーテ コイ (すぐに来い)。シェーテ ヤレ (すぐにやれ)。

ヘシネー〔形〕 遅い。待ち遠しい。待ちくたびれた。【例】ヘシネーナー (<長く待ちくたびれて>遅いなあ)。

ハヤ〔副〕 早くも。【例】ハヤ キタカカ (早くも来たのか)。

マニオー〔動・五〕 足りる。間に合う。【関連】バラシタ 何か足りなくて「しまった」と言うときの言い方。

デコト〔副〕 たくさん。【例】タンボ デコト アル (田んぼがたくさんある)。【大杉】デーコ〔副〕、デッカイコト〔副〕。【尾小屋】デカト〔副〕、デカトー〔副〕。

タント〔副〕 たくさん。【例】タント ヒトカ ヨットルヨー (たくさん人が集まっているよ)。タント アル (たくさんある)。タント タベル (たくさん食べる)。

ヨーケ〔副〕 たくさん。【例】ヨーケ モロタ (たくさん貰った)。【大杉】ヨーケ〔副〕、ヨケ〔副〕。【尾小屋】ヨーケ〔副〕。

エッペ〔副〕 いっぱい。たくさん。【例】オチャワ エッペ ツクモンデネ (お茶はいっぱい注ぐものではない)。サケワ エッペ ツケ (酒はこぼれるくらい一杯注げ)。

テンポニ〔副〕 大変。すごく。【例】テンポニ ヤカマシー (すごく騒がしい)。【尾小屋】テンポ〔副〕。

チョッコ〔副〕 少し。ちょっと。チョッコリ〔副〕、チョッコシ〔副〕とも。【例】チョッコシカナイ (少ししかない)。【尾小屋】チョッコ〔副〕、チョッコリ〔副〕。

エランコト 余計なこと。【例】エランコト ユーナ (余計なことを言うな)。【大杉】イランコト。

タラン 足りない。【関連】タライデ 足らなくて。

ドンダケ いくつ。いくら。どれだけ。【例】ドンダケ スル (いくらする)。ドンダケ マッテモコン (どれだけ待っても来ない)。

スバル〔動・五〕 減る。自然現象による減少は言わない。【例】コメ ツクルトコカ スバツタ (米を作るところが減った)。

ヒチ 数字の七。

ナヌカ 7日。【尾小屋】ナンカ、ナヌカ。【関連】シヨナヌカ 人が亡くなったあとの初七日。ショージアケ 人が亡くなったあとの四十九日の法要。ヒヤッカニチ 人が亡くなった後の百箇日の法要。

ヨツタリ 4人。

ヘン 回。イッペン (1回)、ニヘン (2回)、サンベン (3回) のように数える。【関連】クワイ 回。合拗音としてのクワの発音が聞かれた。

ワ 束。稲などの束を数える数え方。稲は4株分を一つにまとめたものを1ワ (把) と言う。【関連】ソク 稲の場合は12ワをひとまとめにして縄で縛ったものを〜ソクと数える。ロッパ (6把) をハンゾク、ジューニワ (12把) をイッソク (1束) と言う。【尾小屋】〜タバ。

タンボ 田の面積の反。「反歩」の意。イッタンボ（一反歩）は10アール。イッタンボ（一反歩）、ニタンボ（二反歩）と数える。【尾小屋】タンボ、タンブ。

スッパリ〔副〕 すっかり。スッキリ〔副〕 とも。【大杉】ホッコリ〔副〕。

チョッコシ〔副〕 ちょっと。チョットとも。

クロイ〔形〕 黒い。連用形はクロナル（黒くなる）のようになる。アコナル（赤くなる）、シロナル（白くなる）も同様。

アオイ〔形〕 青い。緑色だ。普通、青と緑は区別しないことが多いと言う。

ナスビイロ 紫色。野菜の「なすび」の色から。

ツチイロ 茶色。「土色」から。

ヒトシナ 一種類。「一品」から。

グルリ 周り。【例】ウチノ グルリ（家のまわり）。【大杉】グルリ。【尾小屋】グルジ、マワリ。

コンノ この家の。【例】コンノ ヒト オランカー（こんにちは）。【関連】コンネサマネ（こんばんは）。

タケー〔形〕 高い。タカイ〔形〕 とも。

チンチェー〔形〕 小さい。背が低い。チンチャイ〔形〕、チーサイ〔形〕 とも。【尾小屋】チンチェー、チーサイ〔形〕。

デカイ〔形〕 大きい。【例】デコナツタ（大きくなった）。【尾小屋】デカイ〔形〕、デケー〔形〕。
【関連】ウマソーナ〔ナ形〕 体が大きく元気そうな。

シェマイ〔形〕 狭い。シェバイ〔形〕 とも。【尾小屋】セバイ〔形〕、セマイ〔形〕、シェマー〔形〕。

サブイ〔形〕 寒い。【例】サブネーター（寒くないねえ）。

ヨテ 自分に向いている。得意だ。エテ（得手）の音変化形。【例】ヨテノ シゴトニ アタツタ（自分に向いた仕事にあたった）。【関連】ヨテンナイ 好きでない。得意でない。「ヨテデナイ」からの変化。

サンニユスル〔動・サ〕 計算する。「算用する」から。

ヨシェル〔動・一〕 集める。【例】ヒトオ ヨセル（人を集める）。【尾小屋】ヨセル〔動・一〕。

エノク〔動・五〕 動く。ウノク〔動・五〕、ウコク〔動・五〕 とも。【尾小屋】エノク〔動・五〕。

カタツケル〔動・一〕 片付ける。

オッタ オチル〔動・一〕の過去形オチタの変化形。

オトイタ オトシタ（落とした）のイ音便形。

イブル〔動・五〕 振る。揺する。イサブル〔動・五〕 とも。

モー〔動・五〕 回る。「舞う」から。マワル〔動・五〕 とも。【例】モートル（回っている）。

ホル〔動・五〕 投げる。捨てる。ホールとも。【例】ホッテヤツタ（投げてやった）。ゴミ ホール（ごみを捨てる）。【大杉】ホール〔動・五〕。【尾小屋】ホール〔動・五〕、ホル〔動・五〕。

コッサエル〔動・一〕 作る。コシラエル（拵える）から。

ジャバル〔動・五〕 大声を出す。

キバル〔動・五〕 精を出す。力む。頑張る。

モノケ 物価。

マカイモン にせもの（偽物）。【関連】ウソヤネカロネ 嘘じゃないだろうね。

マゼシコスル〔動・サ〕 混ぜる。【関連】ゴチャマゼニスル〔動・サ〕 ごちゃごちゃに混ぜる。

マジル〔動・五〕 混じる。

チコー〔動・五〕 違う。変わる。【例】チコー モン（違うもの）。

トシイル〔動・五〕 年をとる。〔例〕トシイットル（年をとっている）。

ヒラタイ〔形〕 平らだ。平たい。〔尾小屋〕ペッタラコイ〔形〕。

タルイ〔形〕 鈍い。ドンカンナ〔ナ形〕とも。〔例〕ドーサカ° タルイ（動作が鈍い）。

ハスカイ 斜め。〔関連〕スジカイ 建物の柱の間に斜めに渡す柱。ハスカイとも。

グットノミ 丸飲み。〔関連〕マルンママ ノム まるまま全部飲むこと。〔尾小屋〕マルノミ、グットノミ。

トク°ロマク〔動・五〕 丸く輪になる。〔例〕トク°ロマイテ スワル（丸く輪になって座る）。トク°ロマイテ ハナシトル（丸く輪になって話している）。

イコ°ル〔動・五〕 濁る。ニコ°ル〔動・五〕とも。

シュム〔動・五〕 染みる。滲む。〔例〕アセカ° シュンダ（汗が染みた）。

イッチョーライ 新品。流行の服。〔例〕イッチョーライノ キテキタ（新品の服を着てきた）。

ナレル〔動・一〕 古くなる。〔例〕アノ サカナワ ナレル（あの魚は古くなっている）。

フルシー〔形〕 古い。ク活用の「古い」をシク活用に類推して変化させた形。〔例〕フルシー ウチヤナー（古い家だねえ）。〔尾小屋〕フルシー〔形〕、オゾイ〔形〕。

アジカ°キツイ〔形〕 味が濃い。アジカ° ツヨイ〔形〕とも。〔例〕アジカ° ツエナー（味が濃いなあ）。

ドクショナ〔ナ形〕 薄情な。非情な。

タルイ〔形〕 ゆるい。〔例〕オビカ° タルイ（帯がゆるい）。

ガンコナ〔ナ形〕 きつい。キツイ〔形〕、ツヨイ〔形〕とも。

ヒドイ〔形〕 つらい。〔例〕ヒドイ シゴ°ト（つらい仕事）。〔尾小屋〕エライ〔形〕 つらい。

ヤワコイ〔形〕 柔らかい。〔尾小屋〕ヤラカイ〔形〕。

キツイ〔形〕 強い。固い。〔例〕スモーカ° キツイ（相撲が強い）。キカ° キツイ（気が強い）。ドノキツイ メカ°ネ（度の強い眼鏡）。

ヤクザナ〔ナ形〕 体が弱い。〔例〕ヤクザナ カラダ シトル（弱い体をしている）。〔関連〕ショートナ〔ナ形〕 気が弱い。〔例〕ショートナ オトコ（気の弱い男）。

ネンコ°ロナ〔ナ形〕 丁寧な。〔例〕アノ ヒトワ ネンコ°ロナ アイサツオ スル ヒトヤ（あの人は丁寧な挨拶をする人だ）。

ヤンチャナ〔ナ形〕 乱暴な。ぞんざいな。〔例〕ヤンチャナ コト スル オトコヤ（乱暴なことをする男だ）。

ヤクチャムナイ〔形〕 いい加減な。エーカケ°ンナ〔ナ形〕とも。〔例〕ヤクチャムナイ コトオスル（いい加減なことをする）。〔尾小屋〕ソソーナ〔ナ形〕、ソソナ〔ナ形〕。

ダチャカン 駄目。駄目だ。「埒開かぬ」に由来する形。ダチカン、ダッチャカンとも。〔例〕ソソナモンワ ダッチャカンゾ（そんなことをしては駄目だぞ）。

ラクナー〔ナ形〕 易しい。分りやすい。〔例〕コノ モンダイワ ラクナー（この問題は易しい）。コノ シゴ°トワ ラクナー（この仕事は分りやすい）。

ムツカシー〔形〕 難しい。〔例〕ムツカシー カオ シトル（難しい顔をしている）。

アブネー〔形〕 危ない。〔例〕アブネー コト シトル（危ないことをしている）。〔大杉〕アンネ〔形〕。〔尾小屋〕アブネー〔形〕、アブナイ〔形〕。

オル〔動・五〕 居る。〔例〕オツタカ？ オランダ（居たか。居なかった）。〔関連〕オラン 居ない。〔例〕アノヒト コドモ オランカ°ヤネー（あの人、子どもがいないんだね）。

イッショヤ〔ナ形〕 同じ。オンナジヤ〔ナ形〕とも。【尾小屋】オンナシヤ〔ナ形〕、オンナジヤ〔ナ形〕、イッショヤ〔ナ形〕。

モル〔動・五〕 漏る。漏れる。【例】アメカ°モットル（雨が漏っている）。

ククル〔動・五〕 縛る。シバル〔動・五〕とも。【例】シンブンオ ククル（新聞を縛る）。

ツブル〔動・五〕 閉じる。ツムル〔動・五〕とも。【尾小屋】フタク°〔動・五〕、フサク°〔動・五〕。

ヒツク〔動・五〕 くつつく。クツク〔動・五〕、ツク〔動・五〕とも。クツクよりもヒツクの方が付着の度合いが強い。【例】ゴミカ°ヒツツイタ（ごみがくつついた）。

クー〔動・五〕 刺す。食う。サス〔動・五〕とも。【例】カー クーサカイニ（蚊が刺すから）。

ホジル〔動・五〕 掘る。【例】アナ ホジッタ（穴を掘った）。

ヒロー〔動・五〕 拾う。ヒラウ〔動・五〕とも。【例】サイフ ヒロータ（財布を拾った）。【大杉】ヘラウ〔動・五〕。

ンナ 皆。みんな。【例】ンナ タベテシモータ（みんな食べてしまった）。

ウズマル 埋まる。【例】アシ ウズマッテシモータ（足が埋まってしまった）。

ヨモキ°イロ 緑色。

カヤル〔動・五〕 倒れる。【例】キカ°カヤル（木が倒れる）。ヒトカ°カヤル（人が倒れる）。【関連】カヤス〔動・五〕 倒す。

マジル〔動・五〕 混ざる。混じる。マザル〔動・五〕とも。【例】イロ マジッテシモタカ°ヤ（色が混ざってしまったよ）。

2.15<職業>に関する語彙

オボーサン 僧侶。【大杉】ゴボサン、ゴボーサマ。【尾小屋】ゴボサマ。【関連】ゴエンサン 位の高い僧侶。ポーズ 僧侶に対する蔑称。ドーキ°ヨースル〔動・サ〕 僧侶について回る。「同業する」の意。

カンヌシ 神主。カンヌシサンとも。

ジュンサ 警察官。駐在所の巡査。最近はおマワリサンと言う。【尾小屋】ダンナサン、ジュンサ。

エシャ 医者。イシャとも。

ジメン 地所。「地面」の意。

ヤヌシ 家の持ち主。貸家の家主はおーヤと言う。

シッチャ 質屋。シチヤとも。

ゴフクヤ 呉服屋。【尾小屋】タンモノヤ。【関連】カズキウリ 反物や着物をかついで売り歩く行商人。

ヤドヤ 旅館。最近はりヨカンと言う。【関連】キチンヤド 内湯がない、食事と寝るだけの安い宿。モクチンとも。ウチユヤド 内湯のある宿。

シダッシャ 仕出屋。【尾小屋】シダッシャ、シダシヤ。

ノミヤ 飲み屋。居酒屋。【尾小屋】ノンミヤ。

ナカエ 旅館や料理屋の仲居。ナカイとも。

アンマサ 按摩をする人。マッサージ師。【尾小屋】アンマサ、アンマサン。

デカシェキ° 出稼ぎ。符津のあたりでは冬に出稼ぎに出る人はあまりいなかった。

ヒヤトイニンプ 肉体労働をとまなう日雇い労働者。ニンプ、ヒヤトイとも。【尾小屋】ニンプ。【関連】ニンプシコ°ト 日雇い労働。最近はニンボとも。

ツトメニン 会社員。サラリーマン。

カベヤ 左官屋。

ダイクサン 大工。

エタマエ 板前。

アキナイニン 商人。【大杉】アキナイヤ、ショーバイヤ。【尾小屋】アキンド、ショーバイヤ。【関連】
チューカイニン、ナカカ°イニン 仲買人。

トンヤ 問屋。【尾小屋】オロツシャ、トイヤ、トンヤとも。

コブツショー 古物商。【大杉】フルモンヤ、コットモンヤ。【尾小屋】フルドーク°ヤ。

ギョーショー 行商人。

イカケヤ 鋳掛け屋。

カジヤ 鍛冶屋。【尾小屋】カンジャ。

ヤッキョク 薬屋。薬局。【尾小屋】クスツリヤ、クスリヤ、ヤッキョク。

アオクサヤ 八百屋。「青草屋」の意。【大杉】ヤサイモノヤ、アオクサヤ。【尾小屋】アオクサヤ。

ヒャクショー 農夫。農業。農家。

リョーシ 獵師。狩人。【尾小屋】テッポーウチ 鉄砲を使って狩りをする人。

バツサイ 木を切ることを職業にしている人。【尾小屋】コビキサ、コビキサン。

サカナツリ 獵師。リョーシと言うことが多い。

アマサ 海女。アマとも。

バイバイ 商売。売買。【尾小屋】アキナイ。

ミシェ 店。

カシェク° 働く。「稼ぐ^{かせ}」から。

ヨルシゴ°ト 夜なべ仕事。

ハカイク〔動・五〕 はかどる(捗る)。物事が順調に進む。

イップクスル〔動・サ〕 ひと休みする。

テッダイ 手伝い。オーエンとも。

オク〔動・五〕 止める。ヤメル〔動・一〕とも。

2.16<農・林・漁業>に関する語彙

ヒャクショー 農家。農業従事者。【大杉】ヒヤツショー、ヒャクショー。【尾小屋】ヒャクショー。

【関連】ミズノミビャクショー 農家、農業従事者の蔑称。「水呑百姓」から。

サツキマエ 5月の田植時期の農繁期。

カリイレドキ 8月下旬から9月にかけての稲刈り時期の農繁期。

ヤスミキ°ョー 農繁期の後の休み。「休み業」の意。【関連】カリアケ° 稲刈り終了後の休み。【尾小屋】
ヤスンキ°ョ 秋の稲刈りが終わったあと、村全体が一斉にとる休み。田植の後の村一斉の休みは
ヤシコと言う。

イー 田植や稲刈りなど農繁期に、お金を出さずに近所同士で労働を交換し合うこと。「結」から。
ユイとも。【尾小屋】イー、イーシアンコ。

ソーニンボ 村の共同作業(道直しや水路掃除など)。「総人夫」の意か。ソーニンブとも。【例】アシ
タ ソーニンボヤサカイ デテクレ(明日は村の共同作業があるから出てくれ)。

コヤ 小屋。ナヤ(納屋)より小さい小屋。【関連】ハイコ°ヤ 灰を入れる小屋。ウシコ°ヤ 牛を飼
う小屋。

タキモンコ°ヤ 薪^{たきぎ}を入れる小屋。【尾小屋】バイタコ°ヤ。

ヒヨケ 日除け。ヒオイ（日覆い）とも。

タ 田んぼ。

オカダ 水もちの悪い、乾きやすい田んぼ。

カワダ 深田。水もちがよく深い田んぼ。【尾小屋】ヌマダ。【関連】チューカワダ オカダとカワダの中間位の田んぼ。シミダシ 田んぼの中で出る冷たい湧き水。カワダの原因の一つだが、最近は少なくなった。

デンチ 田畑。デンバタとも。

ヒラキ° 開墾して田んぼにした土地。【関連】ヤマヤブリ 山を切り開いて畑にした土地。

アジェ 田んぼの中の畦。

クロ 田んぼと田んぼの境目にある高い土手。

アジェマメ 大豆。畦に植えて作ったことからこの名がある。戦時中に少し作った。【尾小屋】アゼマメ。

ウネタテスル〔動・サ〕 土を盛り上げて畝を作る。

ニカ 籾殻もみがら。ヌカとも。米の入った籾はモミと言う。【尾小屋】ヌカ、モミヌカ、モミカラ。【関連】ニカバイ 籾殻を燃やした灰。肥料に使った。

ナワシロオ シメル〔慣〕 苗代を作って種蒔きの準備をする。

タウチ 田植前の田の荒起こし。【関連】クレウチ 稲刈り後の秋過ぎの田起こし。

ムシカエシ 畑を耕すこと。

アト 代掻きしろか。【例】アト シニカカル（代掻きを始める）。

ボーウシ 雄牛。オトコウシとも。

メンタウシ 雌牛。ヒンコーウシとも。

メダシ 苗代に蒔く種籾の芽を出すこと。2日ほど湯につけておく。

サツキ 田植の時期。田植時期の5月の異称「皐月」から。

マビク〔動・五〕 間引く。菜っぱ類の苗床から不要なものを間引く。【尾小屋】スクル〔動・五〕、ツマム〔動・五〕とも。

アワキビ 黍の一種で餅を作る。【関連】ホーキキビ 黍の一種で箒を作る。

トイキビ 玉蜀黍とうもろこし。トーキビとも。【尾小屋】ナンバキビ。

ナンキンマメ 落花生。【大杉】ソコマメ、ナンキンマメ。【尾小屋】ナンキンマメ。

サエモン 青菜類の総称。「菜物」から。【尾小屋】ナツパ。

クサケズリ 鋏を使って草を取る。【関連】クサトリ 手で草を取る。クサムシリとも。

ターカリ 稲刈り。「田刈り」の意。【例】ターカリニ イッテクル（稲刈りに行ってくる）。

ソクダテ 干してあった稲を束ねること。

イネコキ 稲や麦を茎から取り去ること。脱穀すること。ダッコクとも。

モミスリ 稲の籾から籾殻を取り去って玄米にすること。

ウススリ 精米。玄米を白米にすること。

ハサカケ 稲を乾燥させるためにハサ（稲架）に掛けること。

モミホシ 籾を乾燥させるためにカド（家の玄関先）などに箆むしろを敷いて干すこと。【尾小屋】ジボシ。

ニュー 稲や藁を積み重ねた稲叢。イネニューとも。符津あたりでは刈り取った稲はハサカケ°（稲架掛け）するので作らない。

テコ° 藁で編んだ物入れの器。野菜や芋類などを入れた。口が丸い形で肩から掛ける。

ワラスベ 脱穀したときに出る藁屑。【関連】ヌイゴ 稲の穂が付いていた芯の部分。

ホー 稲穂。稲の落穂。【例】ホー ヒライニ イツケル (落穂を拾いに行ってくる)。
コメカチ 精米。玄米を白米にすること。「米をカツ (打つ)」から。【例】コメ カツコイ (米を精米してこい)。
カシク° [動・五] 米を研ぐ。
サクカラ 作物のでき具合。デキとも。【尾小屋】ツクリ。
ケカチ 不作。
ナリドシ 作物がよく実る年。
ミカ°イル [動・五] 実が熟れる。実が熟す。
ネツ 米の病気のいもち病のこと。最近はいもちと言う。【例】ネツカ° ツイタ (いもち病になった)。
オドシ かかし (案山子)。
キカ°マ 刃の厚い木を切るための鎌。【尾小屋】ネカリカ°マ。【関連】クサカリカ°マ 草刈り用の小型の鎌。
ビブラ 竹製の熊手。庭先の落ち葉集めなどに使う。鉄製のものもビブラと言う。【関連】カクサキ 田をならすための鉄製の熊手状の農具。クマデとも。
スキ 馬鍬。鋤のこともスキと言う。
マクワ 右利きの人が左手を手前にして鍬を持つ持ち方。【関連】クソクワ 右利きの人が右手を手前にして鍬を持つ持ち方。
ワラナワ 稲藁で編んだ縄。【関連】アサナワ 麻で編んだ縄。コーゾナワ 紙の原料の楮で編んだ縄。
ヌイコ°ナワ 稲藁の芯の部分で編んだ丈夫な縄。俵などを作るときに使った。
ナウ [動・五] 藁を縛う。ヌー [動・五] とも。
ウツ [動・五] 筵や藁を編む。俵はアム [動・五] と言う。
スイノ 一番目の細かい篩。石臼で挽いたものを粉と皮に分けるときに使う。
トーミ 粳、麦、豆などを風に当てて実と殻を選り分ける道具。唐箕。【大杉】トーミ。【尾小屋】トミ。
アオツ [動・五] 箕で穀物を篩い、屑を取り除く。【関連】トミアオチ トーミで穀物などの屑を取り除くこと。
ワラカチキネ 藁を打つ槌。【尾小屋】ワラカチ。
ヒキウス 石臼。
イズミ 藁で編んだ育児用の嬰兒籠。【大杉】イズメ。【尾小屋】イズミ。
コヤシ 肥料の総称。【関連】シモコ°イ 人糞肥料。「下肥」の意。シメカス 魚を使った肥料。カナコ°イ お金を払って購入した肥料。ナワシロコ°イ 苗代を作る前に田にやる肥料。人糞や元肥。
ポー 天秤棒。【尾小屋】ニナイポー。
タコ°ケ 人糞を入れて天秤棒の両側に下げて運ぶための肥桶。【尾小屋】タモケ、コヤシオケ。
ミズク°ルマ 米搗きなどに使った水車。スイシャとも。
エザン 用水と排水を兼ねた水路。
ミトク°チ 用水から田への水の取り込み口。【尾小屋】ミナクチ。
シリミト 田から水を出すための水の落とし口。【大杉】シリント。【尾小屋】シリミト。
ツツミ 灌漑用水の水を溜める大きな溜池。【関連】ショーズ 灌漑用水の水を溜める小さな池。
ニドラ 背負って物を運ぶための木製の道具。背負子。【大杉】セータ。【尾小屋】セナカチ。
ハタケヅクリ 畑で作物を作る作業。また、その結果とれた作物のことも言う。【尾小屋】ハタケモン。
ヤマダシ 山林などから樹木を切り出すこと。

ガンドー 大型の鋸のこぎり。【関連】ノコキリ 小型の鋸。【尾小屋】ガンド。
ヨーキ 斧おの。
バイタ 薪用の太い割木わりき。マキとも。【関連】バイタヤマ バイタ（割木）を取る山。バイタニュー
山で切ったバイタを積み上げたもの。
ホエ 薪用の木の小枝。【関連】ホエヤマ ホエを取る山。ホエニュー 山で切り集めたホエを積み上
げたもの。
コッサ 松の落ち葉。
コワリ 皮をはいだ丸木。マルタとも。バイタニュー（前出）の両側の支えに使ったりする。【関連】
ハサキ° ハサ（稲架）の縦棒に使う直径10 cm程度、高さ3 m程度の丸木。栗の木が多い。
カクザイ 四角いザイモク（材木）。角材。
マルザイ 丸い材木。
ヨーザイ 材木にできる木。
コビキ 木を切るのを仕事にする人。「木挽き」から。【関連】ヒク〔動・五〕 木を鋸で切る。
ヤマシ 林業を職業とする人。「山師」の意。
ウマオケ 馬の飼料を入れる桶まぐさ。秣桶。【関連】オケノワ イレル 桶たがに箍をはめる。「桶の輪（を）入
れる」の意。
アカスル〔動・サ〕 船の水が漏る。桶の水漏れには言わない。
ハナカン 成長した牛につける鼻輪。
ツボ 罫わな。【関連】ハネツボ 雉きじなどを捕まえる罫。輪の状態のものに脚を入れると仕掛けが働き、輪
が締まるようになった罫。ウサキ°ノツボ 兎捕りの罫。ガンバサミ 雁がんなどを捕るための、両側
から挟むようになった罫。ネズミカコ° 鼠捕りの籠。
カイコサマ 蚕かいこ。カイコとも。蚕を蛇が食べにきて、蚕が蛇を嫌うというので、昔は親が子どもに
「カイコサマの前ではヘビと言わずにナカイモンと言え」と教えるくらい蚕を大事にしていた。
【関連】コカイ 養蚕。ハツコ 春蚕。ナツコ° 夏蚕。アキコ° 秋蚕。
マイ 蚕の繭。【関連】クズマイ 屑繭。タママユ 蛹さなぎが2匹入ってできた繭で価値が下がる。タレコ
ー 途中で蚕が死んでしまった繭。汚くて価値が低い。
ツバメ 桑の実。クワノミとも。【関連】クワコキ 桑の葉摘み。桑の木には種類があり、蚕の成長段
階に応じて、ネズミカ°エシ→カネコ→ロソーと、食べさせる桑の種類を変える。
ハタヤ 繊維業。【関連】オリコ 繊維工場働く女性。
ネンシ 糸を紡ぐこと。【関連】ネンダイ 紡ぎ車。
キイト 生糸。蚕の繭からとったままで、まだ撚よらない糸。【関連】ナママユ 生繭。
シオタキ 塩田えんでんで海水をまくこと。また、それをする人。
ウオツリ 魚釣り。ツリとも。
クグル〔動・五〕 水に潜る。【関連】ミズククリ 水に潜ること。
シャデ 三角形の網。網の種類には、ほかにヨツデ（四方網）、マエカ°キ、サシアミ（刺網）、トア
ミ（投網）などがある。
サシコ 網の修理道具。竹に糸を通して縫う道具。
ネリカ°イ 櫂かいの漕ぎ方。櫂を回しながら使う。
トモ 艫とも。船尾部分のこと。【関連】ヘサキ 船の先端の尖った部分。

2.17<勤怠・難易・経済>に関する語彙

マメナ〔ナ形〕 真面目な。ひんぱんに。

ソクサイナ〔ナ形〕 元気な。体が丈夫な。

シェナハゲ° 怠け者。

ドンダクレ 酒飲みの人。ノンダクレとも。【尾小屋】ドンダクレ、ドンダクモン、ドーラクモンとも。

アンバイ 調子。グアイとも。【例】アンバイカ° ワルイ（体の具合が悪い）。

ジャマナイ〔形〕 大丈夫。【例】アシタ ジャマナイカ（明日は大丈夫か）。

ナンキ°スル〔動・サ〕 苦しく困難な目にあう。「難儀する」の意。【関連】ナンキ°ナ〔ナ形〕 生活に困る。【例】ナンキ°ナ コッチャロ（生活に困っていることだろう）。

フンジョナ〔ナ形〕 物が不足して困る。「不自由な」からか。【例】フンジョナ コッチャ（物が不足して困ったことだ）。

コサエル〔動・一〕 作る。ツクル〔動・五〕とも。

コー〔動・五〕 買う。【例】コーテクル（買って来る）。

カイモン 買い物。

ジェン お金。費用。カネとも。【例】ジェン ハロー（お金を払う）。デコト ジェンカ° カカル（たくさんお金がかかる）。

サンニヨスル〔動・サ〕 計算する。「算用する」から。【関連】ソロバン ハジク〔慣〕 利害の計算をする。

ゾーヨ 費用。「雑用」からか。【例】ゾーヨ カカル（費用がかかる）。

ダチカン 駄目。「埒明かぬ」からの変化。

シェーコー 成功。【関連】シンダイオ ヨクシタ（身代をよくした）。

カシェク° 稼ぐ。【関連】カンジョー モロタ お金を稼いだ。

ジェーキン 税金。【関連】マンゾー 村の経費の徴収。「万雑」からか。

オヤケ 金持ちの家。財産家。ジェンモチ（「錢持ち」の意）とも。【大杉】ジェンモチ、ダンシヨ、シヨタイモチ。【尾小屋】オヤケ。

シンダイ 財産。ザイサンとも。

キモンド 村の中で最も家格の高い家。「肝煎どん」から。

ジェータク 贅沢。【関連】ヒンソナ〔ナ形〕 貧しい。「貧相な」から。

シンガイジェン ヘそくり金の古い言い方。ヘソクリとも。

ヨクンボ 欲張り。あるいは欲張りな人。ヨクバリとも。

ショワシナイ〔形〕 忙しい。せわしない。【大杉】アッシェゴシ〔ナ形〕。【尾小屋】アシェコ°シェー〔ナ形〕。

アッタラモンヤ〔ナ形〕 もったいない。「もったいない」の意の「あたら（可惜）」から。果物などの傷んだ部分を切り取った時などにこう言う。モツタイナイ〔形〕とも。

キョクナ〔ナ形〕 人を笑わすような。

ダラク°チ 余計なことを言うこと。ずれた話をする事。

マニアウ〔動・五〕 役に立つ。マニオー〔動・五〕とも。【尾小屋】ヤクンタツ〔動・五〕。

ジャマクセー〔形〕 面倒くさい。面倒だ。ジャマクサイ〔形〕とも。【尾小屋】ジャマクサイ〔形〕、メンドクサイ〔形〕。

2.18<助詞・助動詞・その他>に関する語彙

本稿では省略する。

3.おわりに

以上、1998年度調査の結果のうち、符津町方言の生活語彙について（1996年度、1997年度の重点調査地点である大杉町、尾小屋町の比較を含め）報告した。本稿冒頭でも触れたとおり、今回報告できなかった部分については、本紀要の次号以降、あるいは5年間の調査を終えた後に予定している最終報告書で報告したいと考えている。

【主要参考文献】

加藤和夫（1995）「石川県能美郡川北町の生活 言葉」、『川北町史 第一巻 自然・生活編』、川北町役場

加藤和夫（1997）「石川県小松市大杉谷川流域の方言」、『小松市立博物館研究紀要』第33号、小松市立博物館

加藤和夫（1998）「石川県小松市郷谷川・滓上川流域の方言」、『小松市立博物館研究紀要』第34号、小松市立博物館

川本栄一郎（1983）「石川県の方言」、『講座方言学6 中部地方の方言』、国書刊行会

【追記】

昨年度の調査報告、加藤和夫（1998）「石川県小松市郷谷川・滓上川流域の方言」の中に以下の誤植等がありましたありました。ご訂正下さい。

頁・行	誤	正
8頁・21行	○●, ●○△	●○, ●○△
10頁・表4 最下欄	ⅢW	ⅢW・V
10頁・表5 最上欄	(○○)	(○●)
11頁・「2拍名詞のアクセント体系」図凡例	IV・IW / IN・II・ⅢN / ⅢW	IV・IW / IN・II・ⅢN / ⅢW・V
83頁・(注15)	クルカ ^ン [kuru ^ŋ an]	クルカ ^ン [kuru ^{uŋ} an]